

令和 2 年度  
自治会に関するアンケート調査  
結果報告書

長浜市連合自治会  
令和 3 年 2 月

## 目 次

### 1. 調査の概要

1	目的	· · · 2
2	実施要領	
3	調査票の配布・回収の状況	

### 2. 調査の結果

1	自治会役員について	· · · 3
	· 年齢、性別、選出方法、任期	
	· 女性の参画状況	
	· 担い手確保のための工夫	
2	自治会の収支について	· · · 17
	· 自治会費	
	· 自治会費の収集方法	
	· 自治会活動費（予算）の財源や使い道	
3	自治会員について	· · · 22
	· 未加入者の実態把握	
	· 外国人住民との関わり合い	
4	自治会組織について	· · · 28
	· 自治会規模	
	· 移住者の受け入れ	
	· 運営の見直し・工夫	
5	自治会活動について	· · · 33
	· 力を入れている活動（現在、今後）	
	· 自治会活動に関わるきっかけづくり	
	· 自治会内の連絡手段	
	· 配布物の配布方法	
	· 自治会活動の課題	
6	その他（自由意見）	· · · 47

## 調査の概要

### 1. 目的

市内の各自治会の活動状況や課題などの状況把握と、取り組みの好事例を情報収集し、各自治会へ情報提供することにより、自治会活動の強化・充実を図るため、本調査を実施したものである。

### 2. 実施要領

#### ●調査対象

市内全自治会の自治会長

#### ●調査対象数（配布数）

422自治会（425自治会のうち3自治会は活動休止中）

#### ●調査期間

令和2年8月15日（土）～令和2年9月15日（火）

#### ●調査方法

書面によるアンケート調査（郵送回収）

#### ●調査項目

- (1) 自治会役員について
- (2) 自治会の収支について
- (3) 自治会員について
- (4) 自治会組織について
- (5) 自治会活動について

### 3. 調査票の配布・回収の状況

配布数	回答数（回答率）
422自治会	366自治会（86.7%）

<この報告書の集計方法、数値の取り扱いについて>

- ・集計は百分率（%）によるものとし、集計結果は少数第二位を四捨五入し、少数第一位までを表記している。
- ・単数回答（選択肢を1つだけ選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。また、複数回答（該当する選択肢をすべて選ぶ）設問の各種選択肢の回答構成比の合計は100.0%を超える場合がある。
- ・グラフの中の「S A」は単数回答、「M A」は複数回答、「N=\*\*\*」は集計母数を表している。

## 2. 調査の結果

### 1. 自治会役員について

#### 1) 自治会役員（三役）の年齢、性別について

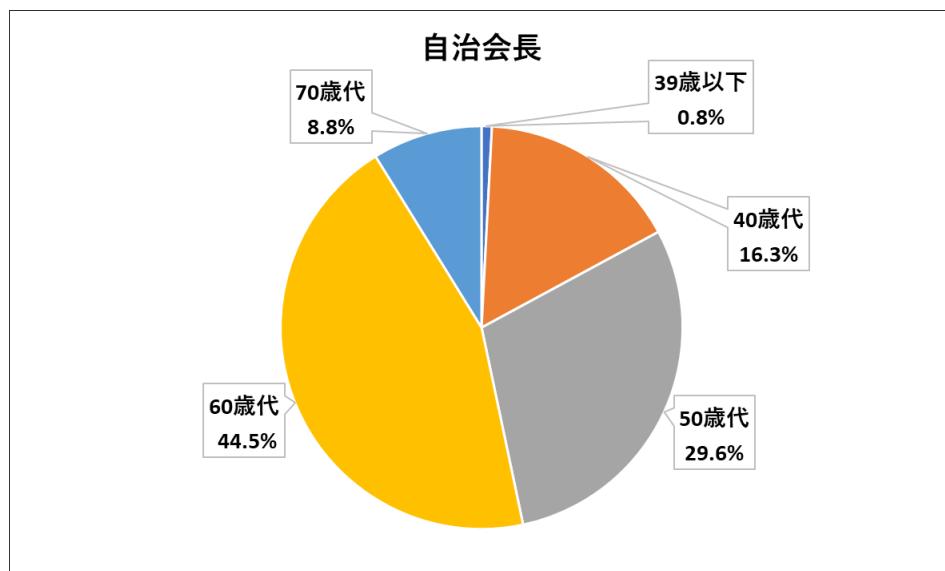
自治会長で最も多いのが60歳代の161自治会（44.5%）、次いで50歳代107自治会（29.6%）、50～60歳代が全体の約74%を占めています。

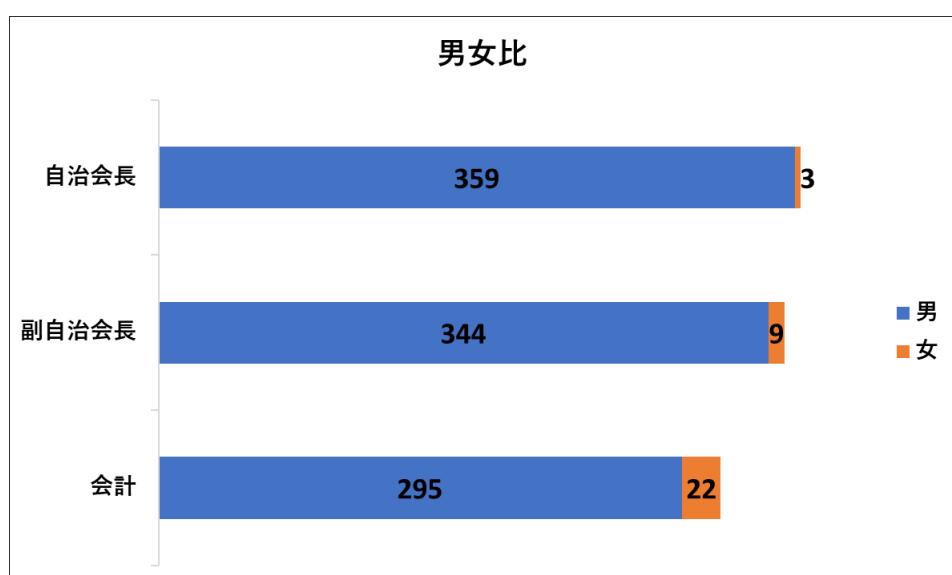
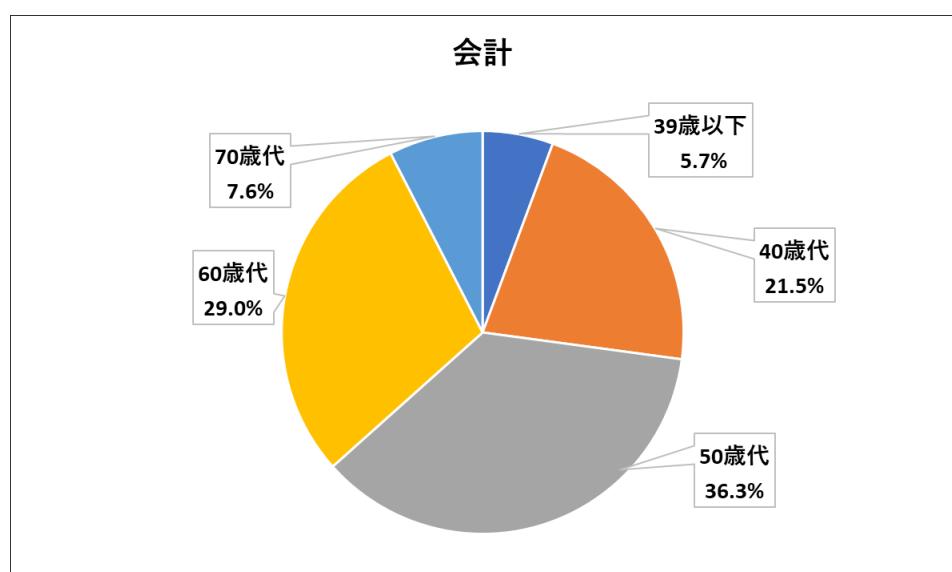
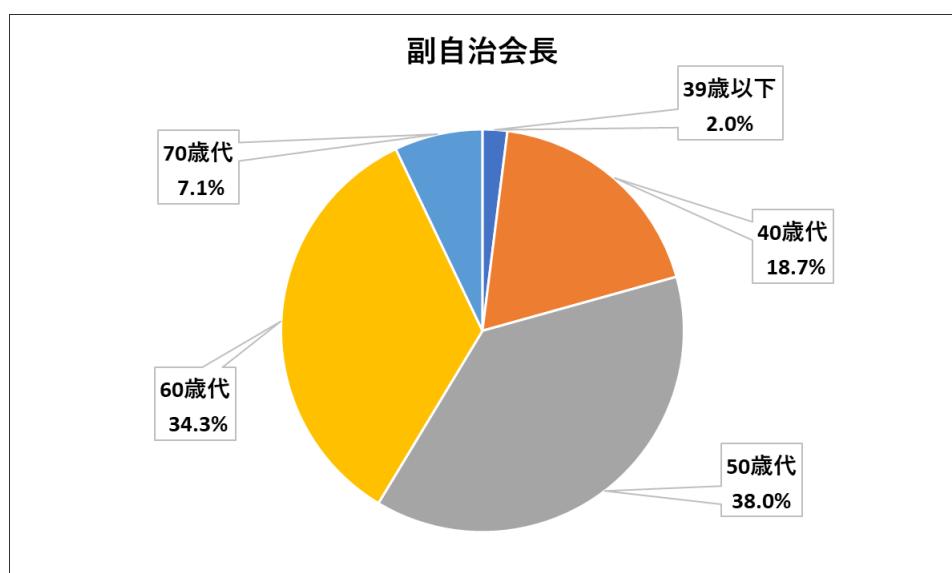
また、副自治会長も、最も多いのが50歳代の134自治会（38.0%）、次いで60歳代の121自治会（34.3%）と全体の約72%を占めています。

会計は、50歳代が115自治会（36.3%）と一番多く、次いで60歳代の92自治会（29.0%）と50～60歳代で全体の約65%を占めています。

自治会長、副自治会長、会計の順で年齢が低くなっている状況が見受けられます。

さらに、平成23年度の調査と比較すると、女性が役員（三役）に就任している自治会は12自治会から34自治会に増加、70代が役員（三役）に就任している自治会も31自治会から83自治会に増加しており、女性の自治会参画や高齢化の状況が見受けられます。





## 自治会長

(S A、N = 3 6 2)

	39 歳以下		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳代		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
長浜	0	0	15	1	47	0	81	0	16	2	159	3
浅井	1	0	16	0	15	0	18	0	4	0	54	0
びわ	1	0	3	0	8	0	9	0	1	0	22	0
虎姫	1	0	2	0	5	0	3	0	0	0	11	0
湖北	0	0	10	0	10	0	9	0	0	0	29	0
高月	0	0	4	0	10	0	11	0	1	0	26	0
木之本	0	0	2	0	4	0	12	0	4	0	22	0
余呉	0	0	2	0	3	0	11	0	2	0	18	0
西浅井	0	0	3	0	5	0	6	0	2	0	16	0
不明	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0
合計	3	0	58	1	107	0	161	0	30	2	359	3
割合	0.8%		16.3%		29.6%		44.5%		8.8%		100.0%	

## 副自治会長

(S A、N = 3 5 3)

	39 歳以下		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳代		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
長浜	3	0	19	0	57	2	57	2	13	4	149	8
浅井	1	0	16	0	19	0	13	0	2	0	51	0
びわ	1	0	6	1	7	0	5	0	2	0	21	1
虎姫	0	0	4	0	5	0	1	0	1	0	11	0
湖北	0	0	10	0	9	0	8	0	2	0	29	0
高月	1	0	5	0	12	0	8	0	0	0	26	0
木之本	1	0	1	0	7	0	12	0	0	0	21	0
余呉	0	0	1	0	8	0	9	0	0	0	18	0
西浅井	0	0	3	0	7	0	5	0	1	0	16	0
不明	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0
合計	7	0	65	1	132	2	119	2	21	4	344	9
割合	2.0%		18.7%		38.0%		34.3%		7.1%		100.0%	

## 会 計

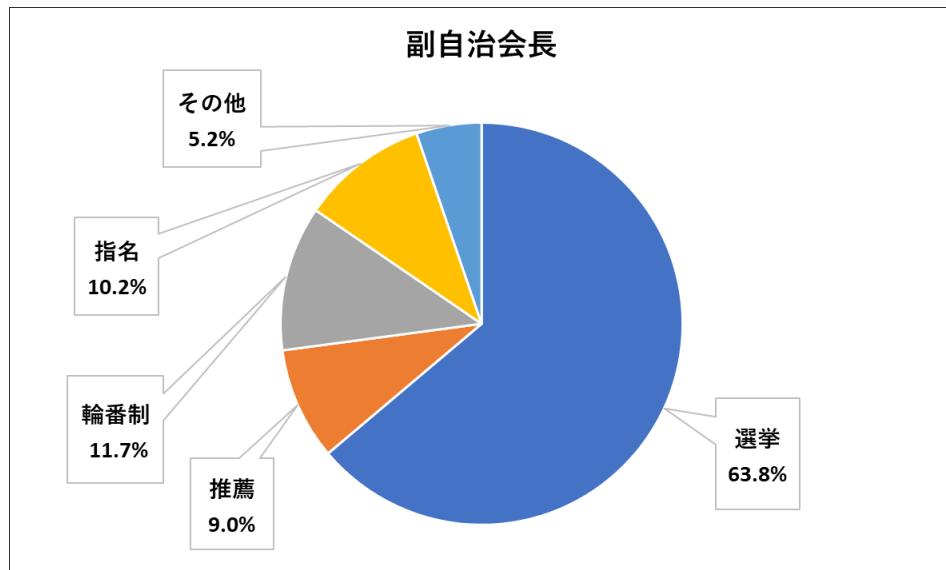
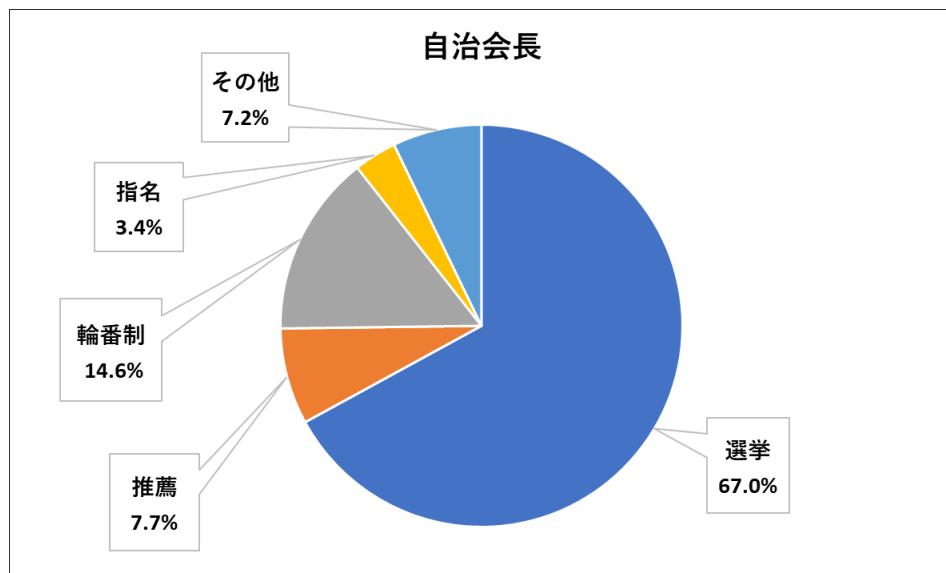
(S A、N=317)

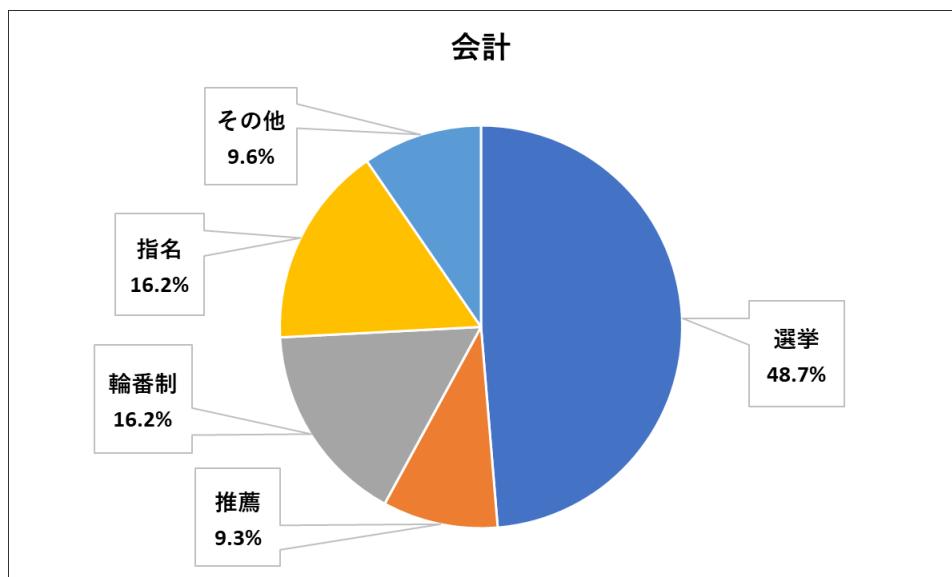
	39歳以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
長浜	5	2	22	3	51	5	43	6	13	2	134	18
浅井	3	0	10	0	13	0	10	0	2	1	38	1
びわ	3	0	6	0	4	0	5	0	1	0	19	0
虎姫	0	0	2	0	4	0	3	0	1	0	10	0
湖北	2	0	10	0	9	0	4	0	1	0	26	0
高月	1	0	8	0	9	0	7	0	0	0	25	0
木之本	0	0	3	0	7	0	9	0	1	0	20	0
余呉	1	0	1	0	4	3	3	0	1	0	10	3
西浅井	0	0	3	0	5	0	2	0	1	0	11	0
不明	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
合計	16	2	65	3	107	8	86	6	21	3	295	22
割合	5.7%		21.5%		36.3%		29.0%		7.6%		100.0%	

## 2) 自治会役員の選出方法について

選出方法は、自治会長、副自治会長ともに選挙での選出が約60～70%となっており、会計も割合が少し低いものの、一番多い状況にあります。

また、長浜地区では、推薦、輪番制、指名で選出している自治会もたくさんあります。自治会の中には、副会長が会計を兼務している自治会や、役員選出後、会長が会計を指名している自治会もあります。





**自治会長**

(S A、N = 349)

	選挙	推薦	輪番制	指名	その他	合計
長浜	78	17	31	7	19	152
浅井	45	2	5	1	1	54
びわ	16	0	2	1	2	21
虎姫	10	1	0	1	0	12
湖北	27	0	2	0	0	29
高月	17	2	2	2	1	24
木之本	16	2	3	0	0	21
余呉	11	3	3	0	1	18
西浅井	13	0	3	0	0	16
不明	1	0	0	0	1	2
合計	234	27	51	12	25	349
割合	67.0%	7.7%	14.6%	3.4%	7.2%	100.0%

## 副自治会長

(S A、N=343)

	選挙	推薦	輪番制	指名	その他	合計
長浜	75	20	22	20	13	150
浅井	44	2	5	1	0	52
びわ	16	2	1	2	1	22
虎姫	8	1	0	2	0	11
湖北	24	0	1	3	0	28
高月	14	2	3	5	1	25
木之本	15	1	3	0	0	19
余呉	9	3	3	1	2	18
西浅井	13	0	2	1	0	16
不明	1	0	0	0	1	2
合計	219	31	40	35	18	343
割合	63.8%	9.0%	11.7%	10.2%	5.2%	100.0%

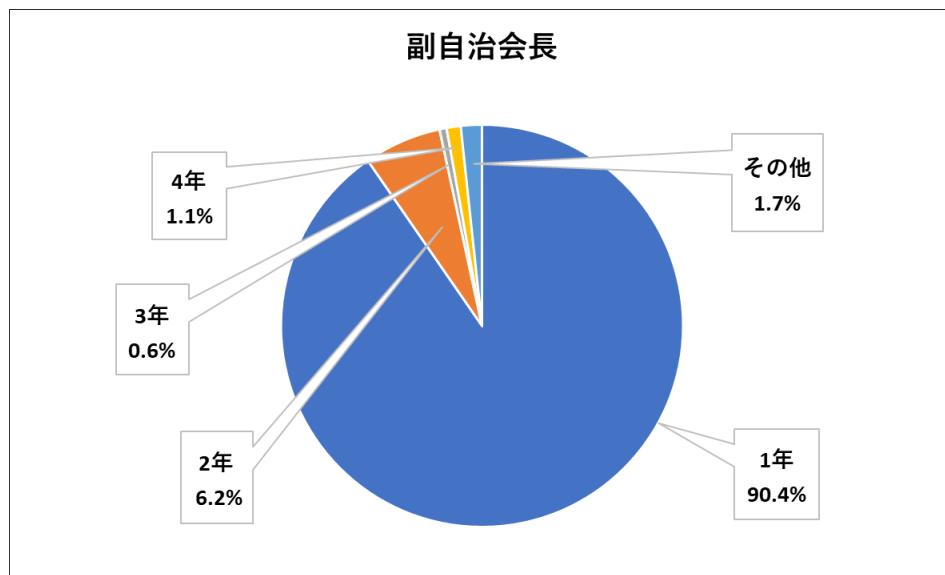
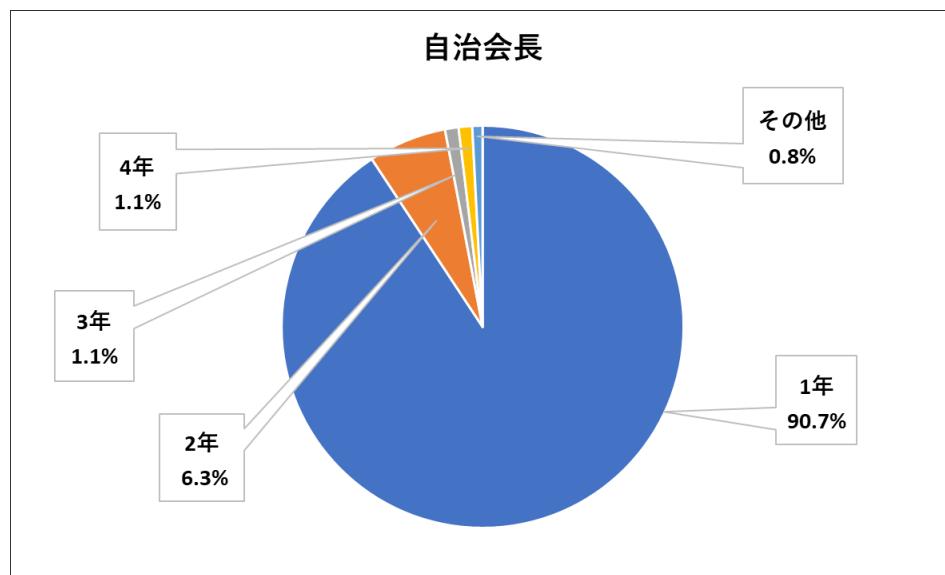
## 会 計

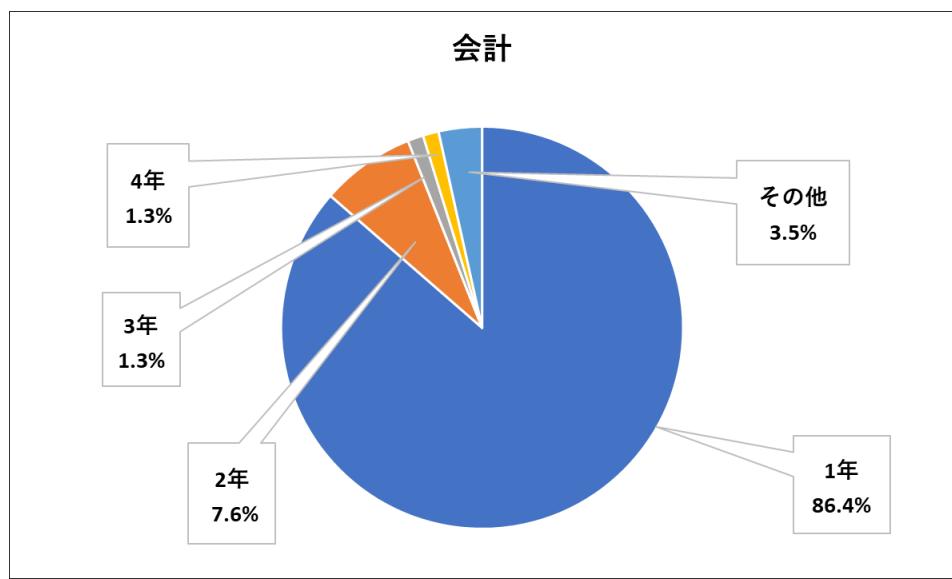
(S A、N=302)

	選挙	推薦	輪番制	指名	その他	合計
長浜	58	19	27	25	15	144
浅井	27	1	4	1	5	38
びわ	7	1	3	5	1	17
虎姫	5	1	0	2	0	8
湖北	17	0	3	5	1	26
高月	10	4	2	7	1	24
木之本	13	0	4	0	1	18
余呉	3	2	4	1	4	14
西浅井	7	0	2	2	0	11
不明	0	0	0	1	1	2
合計	147	28	49	49	29	302
割合	48.7%	9.3%	16.2%	16.2%	9.6%	100.0%

### 3) 自治会役員の任期について

任期は、3役員ともに1年が一番多く、約90%を占めています。自治会の運営は、市内の全域でほぼ1交代であるという状況がわかります。





**自治会長**

(S A、N = 366)

	1年	2年	3年	4年以上	その他	合計
長浜	144	13	2	3	2	164
浅井	54	0	0	1	0	55
びわ	22	0	0	0	0	22
虎姫	11	0	0	0	0	11
湖北	27	1	2	0	0	30
高月	26	0	0	0	0	26
木之本	22	0	0	0	0	22
余呉	16	1	0	0	1	18
西浅井	8	8	0	0	0	16
不明	2	0	0	0	0	2
合計	332	23	4	4	3	366
割合	90.7%	6.3%	1.1%	1.1%	0.8%	100.0%

## 副自治会長

(S A、N=353)

	1年	2年	3年	4年以上	その他	合計
長浜	136	11	2	3	4	156
浅井	51	1	0	1	0	53
びわ	22	0	0	0	0	22
虎姫	11	0	0	0	0	11
湖北	26	1	0	0	1	28
高月	26	0	0	0	0	26
木之本	21	0	0	0	0	21
余呉	15	2	0	0	1	18
西浅井	9	7	0	0	0	16
不明	2	0	0	0	0	2
合計	319	22	2	4	6	353
割合	90.4%	6.2%	0.6%	1.1%	1.7%	100.0%

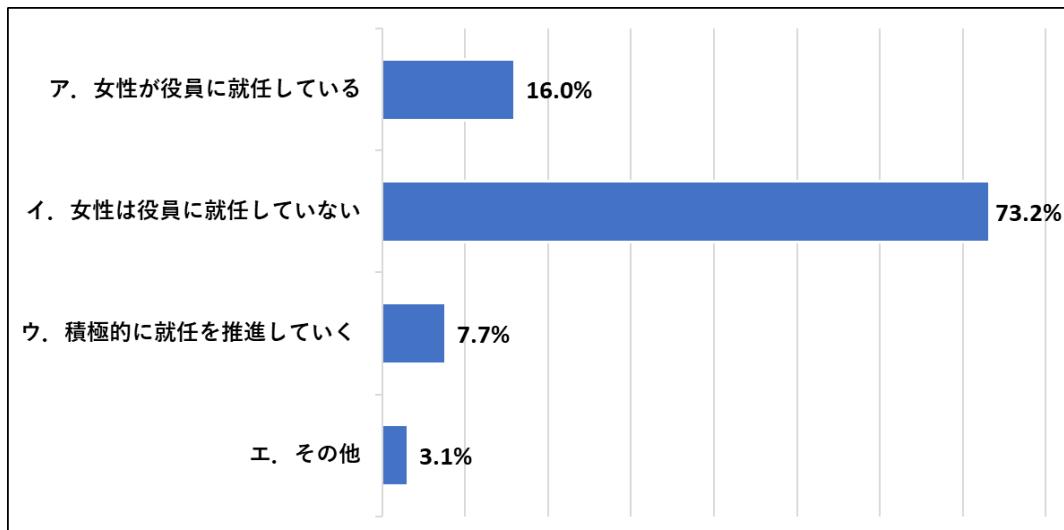
## 会 計

(S A、N=316)

	1年	2年	3年	4年以上	その他	合計
長浜	128	15	3	3	3	152
浅井	36	0	0	0	1	37
びわ	21	0	0	0	0	21
虎姫	8	0	0	0	0	8
湖北	22	1	0	0	2	25
高月	21	1	1	1	1	25
木之本	20	0	0	0	1	21
余呉	10	1	0	0	3	14
西浅井	5	6	0	0	0	11
不明	2	0	0	0	0	2
合計	273	24	4	4	11	316
割合	86.4%	7.6%	1.3%	1.3%	3.5%	100.0%

#### 4) 自治会役員への女性の就任について

女性が役員（3役以外を含む）に就任している自治会は56自治会の16.0%、今後、積極的に就任を推進していくと回答した自治会が14自治会の7.7%となりました。長浜地域では約3割の自治会で女性が役員に就任しており、他の地域に比べて高い率を示すなど、地域によって偏りが見られます。

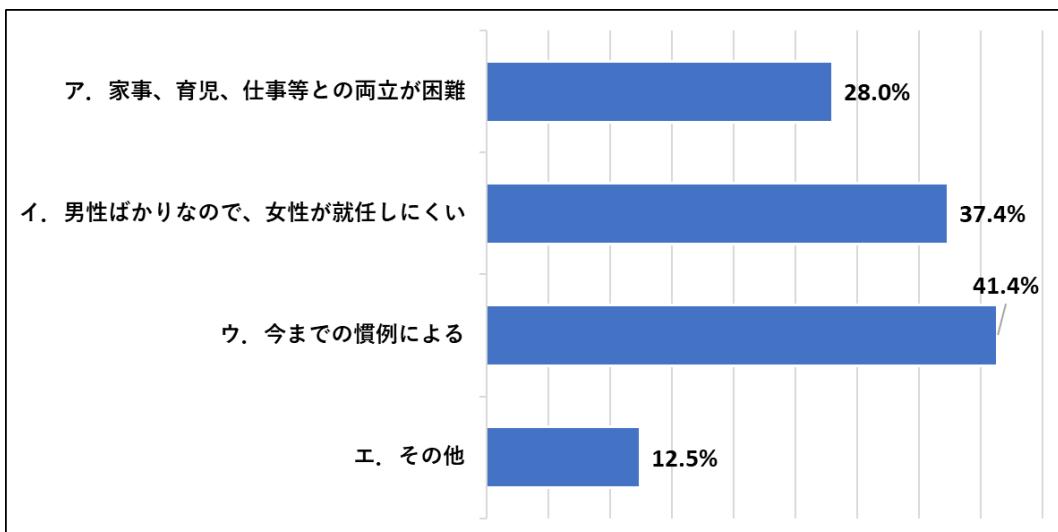


(SA、N = 351)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	49	1	3	1	0	0	1	0	1	0	56
イ	85	48	18	9	25	23	18	17	12	2	257
ウ	14	4	1	0	0	2	3	1	2	0	27
エ	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	11
合計	157	54	22	10	25	26	22	18	15	2	351

## 5) 自治会役員への女性の就任が少ないとことについて

「今までの慣例による」が最も多く、次いで「男性ばかりなので女性が就任しにくい」という結果になりました。その他では、草刈り等出役が多く、女性では対応しきれない、地域の女性会の役員に就任している、世帯主の男性のみが役員になっている等の意見がありました。

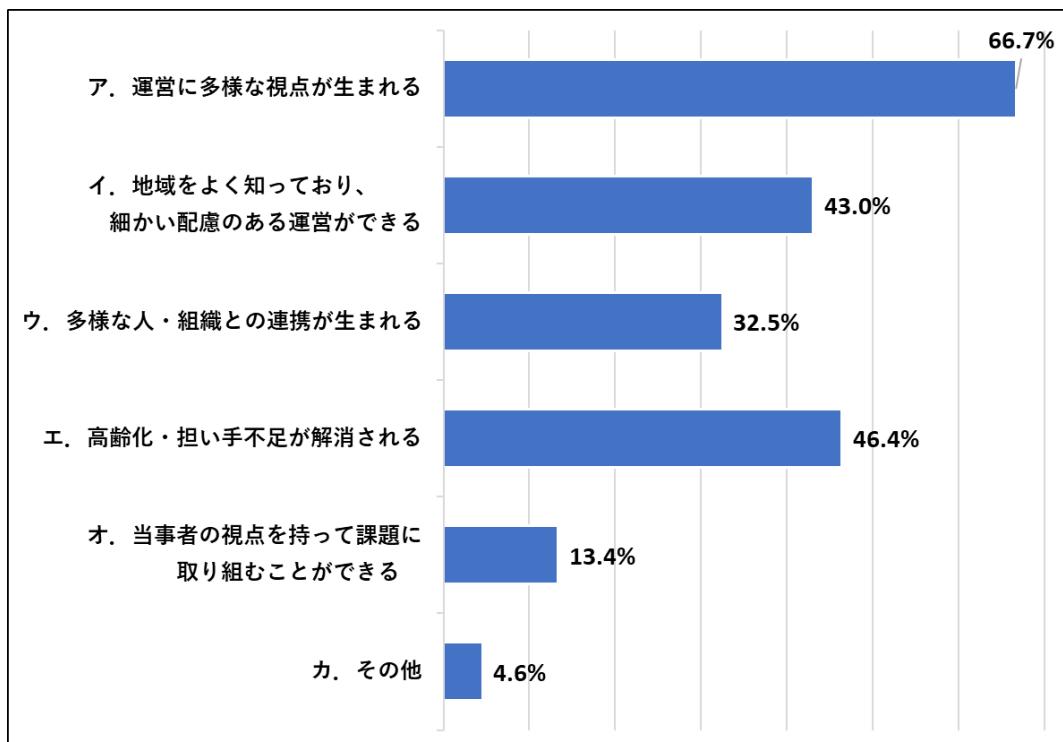


(MA、N = 353)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	55	11	6	3	5	7	4	5	2	1	99
イ	50	16	10	5	7	11	11	11	11	0	132
ウ	54	32	7	5	16	15	7	1	8	1	146
エ	22	6	4	1	3	0	3	1	4	0	44
合計	181	65	27	14	31	33	25	18	25	2	421

## 6) 女性が自治会役員になることのメリットについて

「運営に多様な視点が生まれる」が最も多く、次いで「高齢化・担い手不足が解消される」が多い結果になりました。今後、ますます女性の活躍が期待されます。

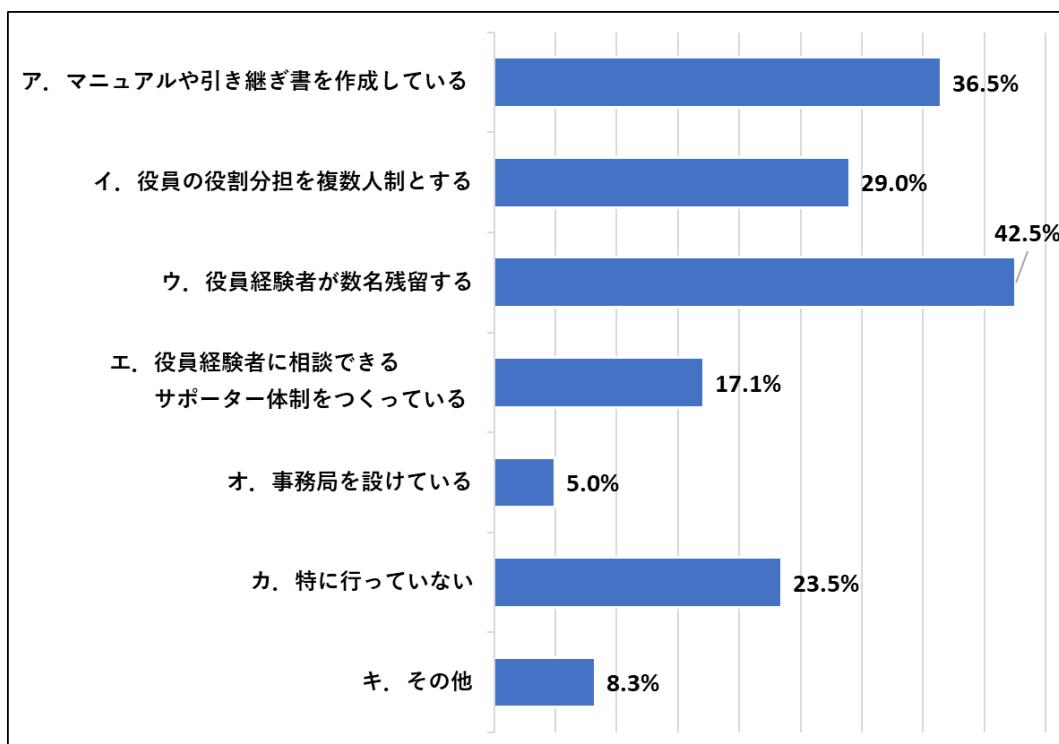


(MA、N = 351)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	107	33	15	5	21	13	15	13	11	1	234
イ	78	19	9	6	10	7	11	4	6	1	151
ウ	56	10	7	2	7	8	11	6	7	0	114
エ	73	23	11	5	12	13	9	9	8	0	163
オ	26	9	2	0	5	0	2	1	2	0	47
カ	8	3	2	0	0	1	1	0	0	1	16
合計	348	97	46	18	55	42	49	33	34	3	725

## 7) 自治会役員のなり手を増やすための取り組みについて

「役員改選の際、役員経験者が数名残留し、継続的な運営体制を確保している」が最も多く、次いで「役員未経験者でも対応できるよう、マニュアルや引き継ぎ書を作成している」という結果となりました。多くの自治会が様々な工夫をして円滑な自治会運営に取り組まれているようです。



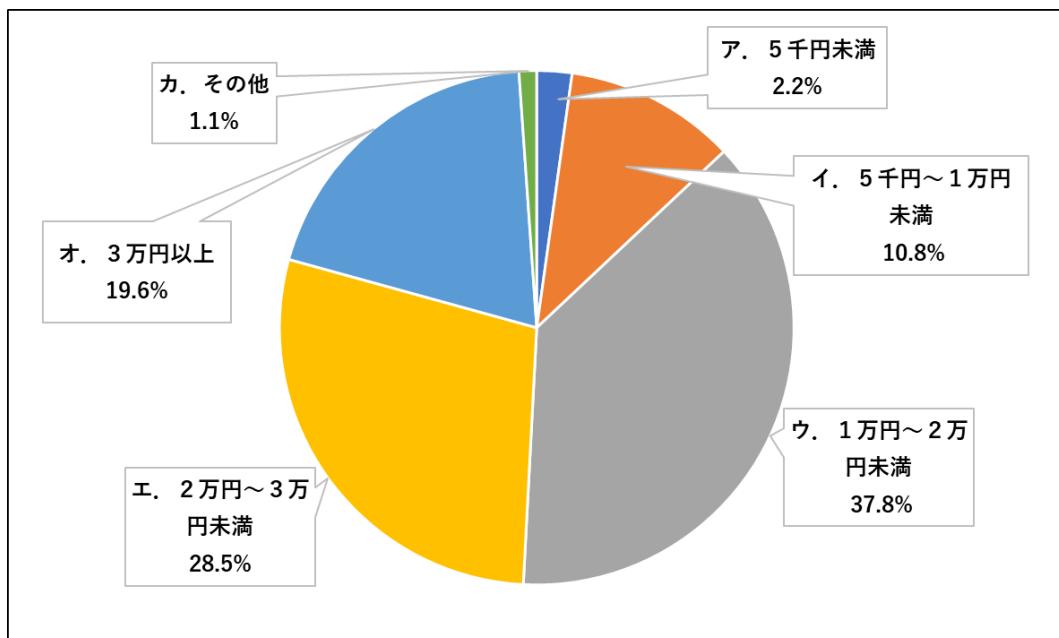
(MA、N = 362)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	62	21	12	2	9	10	6	3	5	2	132
イ	40	11	7	5	9	10	9	5	7	2	105
ウ	62	18	11	7	16	8	10	10	12	0	154
エ	25	9	7	1	4	5	4	2	3	2	62
オ	5	3	2	1	1	1	3	2	0	0	18
カ	44	16	3	2	4	6	5	3	2	0	85
キ	20	1	0	1	2	2	2	1	1	0	30
合計	258	79	42	19	45	42	39	26	30	6	586

## 2. 自治会の収支について

### 1) 年間の1世帯当たりの自治会費（平均）について

全体では、「1万～2万円未満」が最も多く37.8%となっていますが、長浜地区を除く地域では「2万～3万円未満」、「3万円以上」が高い率を示しています。

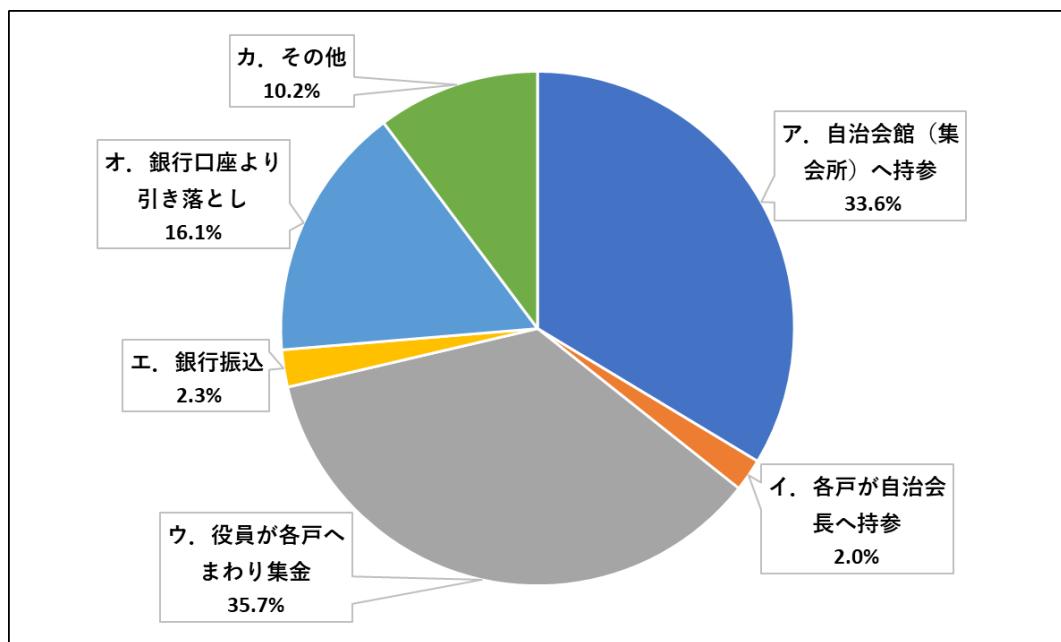


(S A、N = 362)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	5	0	0	0	1	0	2	0	0	0	8
イ	29	5	1	0	0	1	2	1	0	0	39
ウ	92	14	6	1	4	5	6	4	3	2	137
エ	30	15	11	6	13	10	8	6	4	0	103
オ	7	20	3	3	10	10	3	7	8	0	71
カ	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4
合計	164	54	22	11	28	26	22	18	15	2	362

## 2) 自治会費の主な収集方法について

長浜地区では、「役員が各戸へ集金」が、浅井・びわ地区では「銀行口座引落し」、その他の地区では「自治会館へ持参」が最も多くなっています。

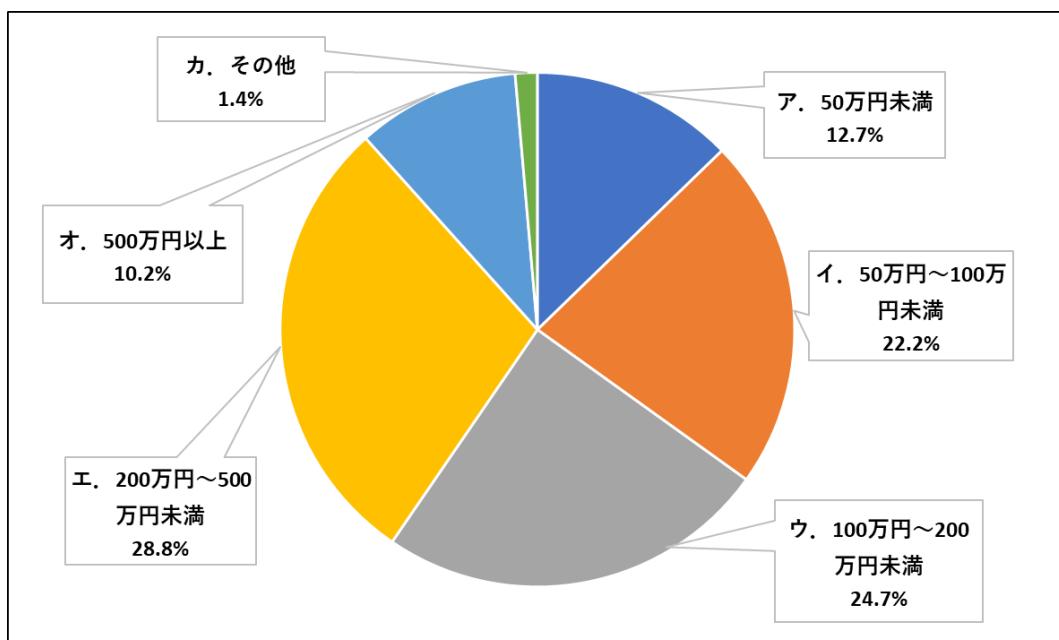


(S A、N = 342)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	24	16	5	4	22	18	10	10	6	0	115
イ	4	2	0	0	0	0	0	0	1	0	7
ウ	97	11	1	4	0	2	5	2	0	0	122
エ	6	1	0	0	0	0	0	0	1	0	8
オ	7	20	12	0	2	3	4	1	6	0	55
カ	18	3	2	2	3	1	1	2	1	2	35
合計	156	53	20	10	27	24	20	15	15	2	342

3) 令和2年度の年間自治会活動費（予算）について

「200万～500万未満」が28.8%と最も多く、次いで、「100万～200万円未満」が24.7%となっています。活動費は、自治会の環境によって大きく異なります。



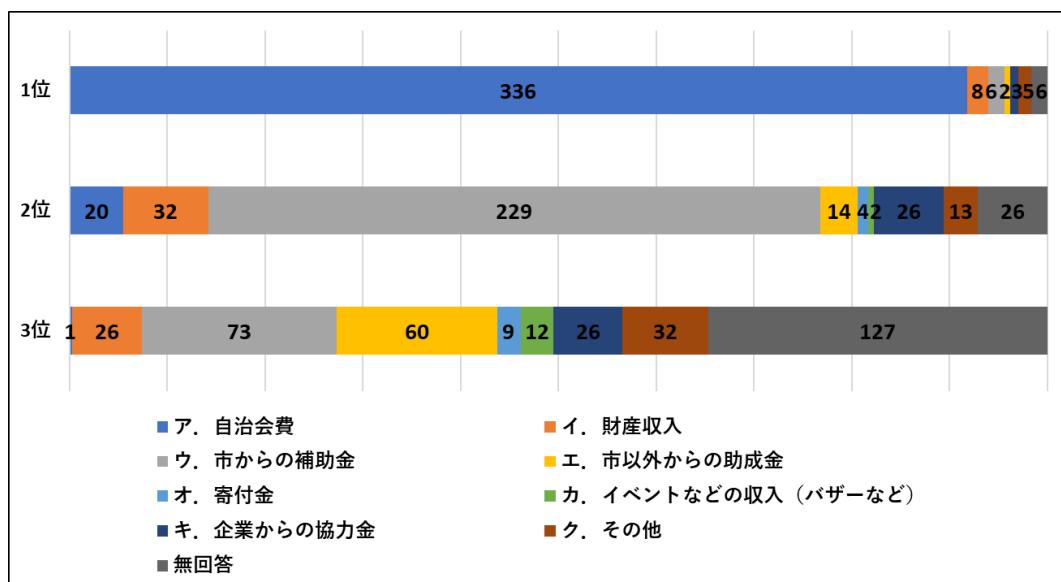
(S A、N = 361)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	28	9	2	0	2	1	4	0	0	0	46
イ	41	11	4	0	8	6	5	1	4	0	80
ウ	27	19	7	5	5	8	7	6	4	1	89
エ	45	9	7	5	10	10	3	10	4	1	104
オ	20	5	2	0	4	1	2	1	2	0	37
力	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	5
合計	163	54	22	11	29	26	21	18	15	2	361

#### 4) 自治会活動費（予算）の財源について

財源として最も多いのは、「自治会費」で、次いで「市からの補助金」となっています。自治会活動は、自治会費で対応されているところがほとんどで、それを補うものとして「市からの補助金」があるといった状況が見受けられます。

また、「その他」には、会館使用料、他所の協議費という回答もありました。

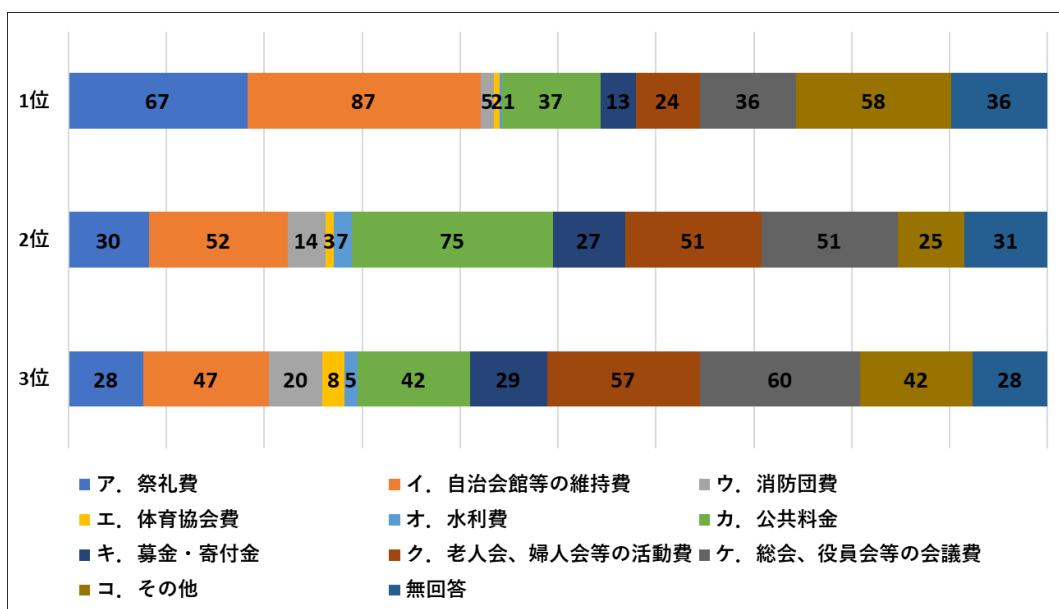


(S A、N = 358)

	1位	2位	3位		
ア. 自治会費	336	91.8%	20	5.5%	1
イ. 財産収入	8	2.2%	32	8.7%	26
ウ. 市からの補助金	6	1.6%	229	62.6%	73
エ. 市以外からの助成金	2	0.5%	14	3.8%	60
オ. 寄付金	0	0.0%	4	1.1%	9
カ. イベントなどの収入 (バザーなど)	0	0.0%	2	0.5%	12
キ. 企業からの協力金	3	0.8%	26	7.1%	26
ク. その他	5	1.4%	13	3.6%	32
無回答	6	1.6%	26	7.1%	127
合 計	366	100%	366	100%	366
					100%

## 5) 自治会活動費（予算）の使い道について

使い道として最も多いのは、「自治会館維持費」で、次いで「公共料金」、「祭礼費」となっています。使い道は、自治会の環境によって大きく異なります。



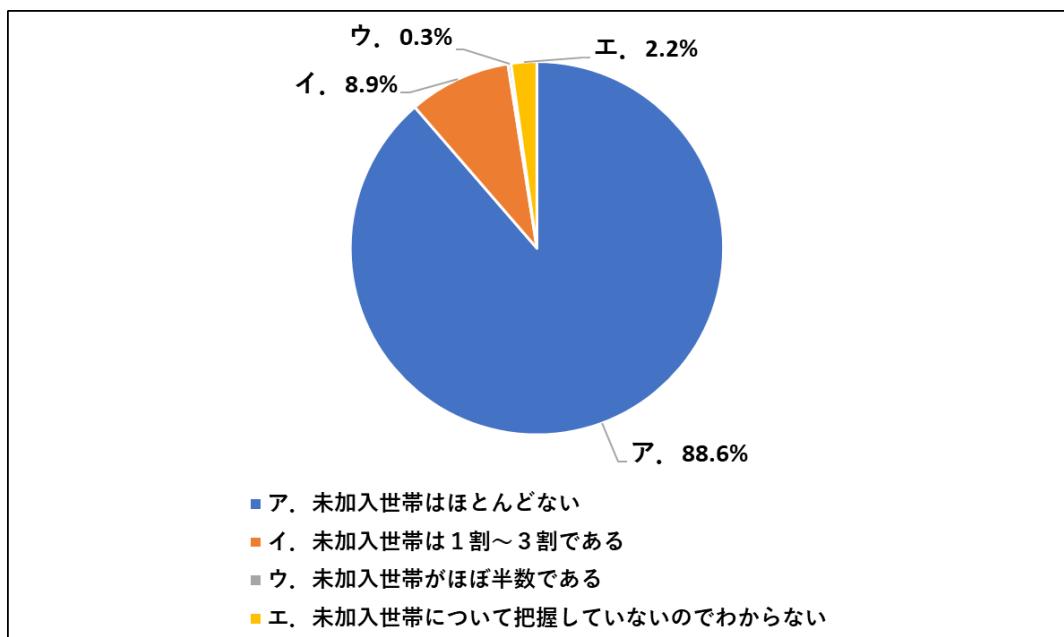
(S A、N = 353)

	1位		2位		3位	
ア. 祭礼費	67	18.3%	30	8.2%	28	7.7%
イ. 自治会館等の維持費	87	23.8%	52	14.2%	47	12.8%
ウ. 消防団費	5	1.4%	14	3.8%	20	5.5%
エ. 体育協会費	2	0.5%	3	0.8%	8	2.2%
オ. 水利費	1	0.3%	7	1.9%	5	1.4%
カ. 公共料金	37	10.1%	75	20.5%	42	11.5%
キ. 募金・寄付金	13	3.6%	27	7.4%	29	7.9%
ク. 老人会、婦人会等の活動費	24	6.6%	51	13.9%	57	15.6%
ケ. 総会、役員会等の会議費	36	9.8%	51	13.9%	60	16.4%
コ. その他	58	15.8%	25	6.8%	42	11.5%
無回答	36	9.8%	31	8.5%	28	7.7%
合計	366	100%	366	100%	366	100%

### 3. 自治会員について

#### 1) 自治会への未加入世帯数について

未加入世帯数は、約9割の自治会が「ほとんどない」という回答でした。一方では、マンション、アパート、会社の寮が多く把握が困難な自治会もあります。平成23年度の調査においても、約9割の自治会が「ほとんどない」という回答であり、自治会加入率に変化はありませんでした。



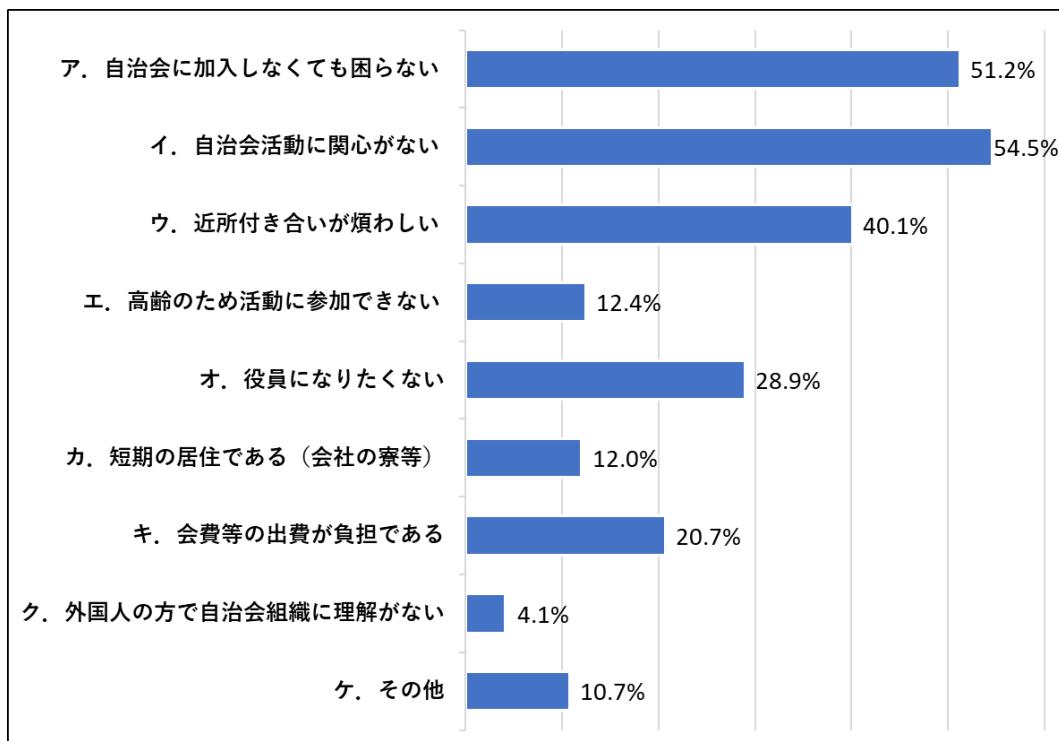
(S A、N = 361)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	135	53	21	8	29	23	17	18	14	2	320
イ	21	2	0	1	0	2	4	0	2	0	32
ウ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
エ	5	0	0	2	0	0	1	0	0	0	8
合計	162	55	21	11	29	25	22	18	16	2	361

## 2) 自治会に加入しない理由について

全体としては「自治会活動に関心がない」が一番多く、次いで「自治会に加入しなくても困らない」、「近所付き合いが煩わしい」と続いています。

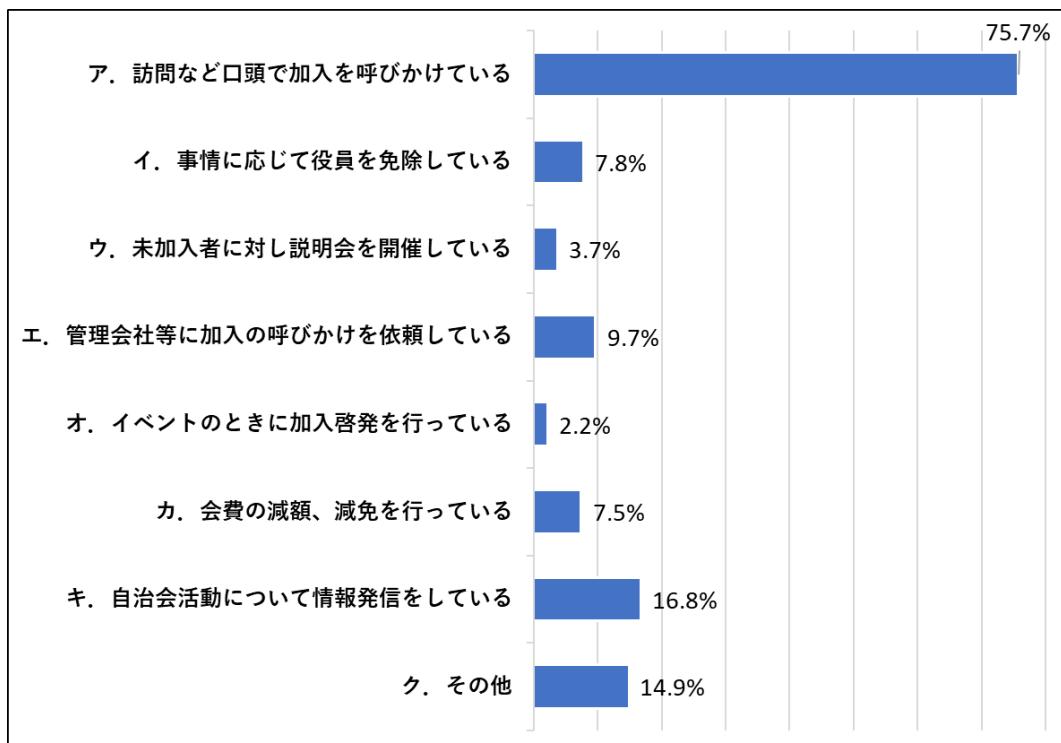
また、地域によっても理由にはらつきがあり、「役員になりたくない」、「会費等の出費が負担」が高い率を示す地区もあります。



(MA、N = 242)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	68	13	7	3	10	7	8	3	4	1	124
イ	67	14	10	7	9	9	7	3	6	0	132
ウ	45	11	10	5	10	9	4	1	2	0	97
エ	11	6	3	0	2	3	2	2	1	0	30
オ	35	14	2	0	3	5	4	2	4	1	70
カ	20	1	0	0	3	2	2	0	1	0	29
キ	23	11	4	2	0	3	2	1	3	1	50
ク	7	0	0	1	1	1	0	0	0	0	10
ケ	12	5	1	1	1	2	2	0	1	1	26
合計	288	75	37	19	39	41	31	12	22	4	568

3) 自治会未加入者（新たに引っ越してきた方を含む）の加入促進の取り組みについて  
「訪問など口頭で加入を呼びかけている」が75.7%と最も多く、その他には、  
自治会長が自治会加入に関して説明を行うという回答が多くありました。

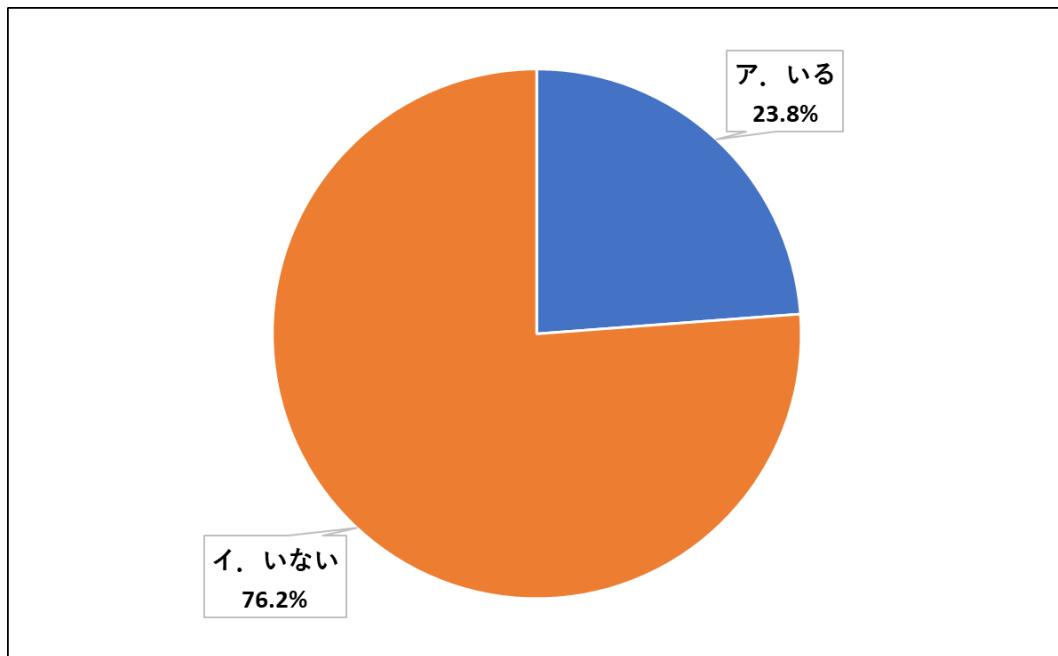


(MA、N = 268)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	95	28	12	8	19	14	9	7	9	2	203
イ	11	3	3	0	1	2	0	0	1	0	21
ウ	0	3	1	0	1	3	0	1	1	0	10
エ	19	1	1	1	1	2	1	0	0	0	26
オ	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	6
カ	7	2	1	0	2	2	2	2	2	0	20
キ	22	10	2	0	5	3	1	0	2	0	45
ク	20	2	5	1	4	3	3	1	1	0	40
合計	177	49	25	10	35	29	17	11	16	2	371

4) 貴自治会に加入している外国人住民はいますか

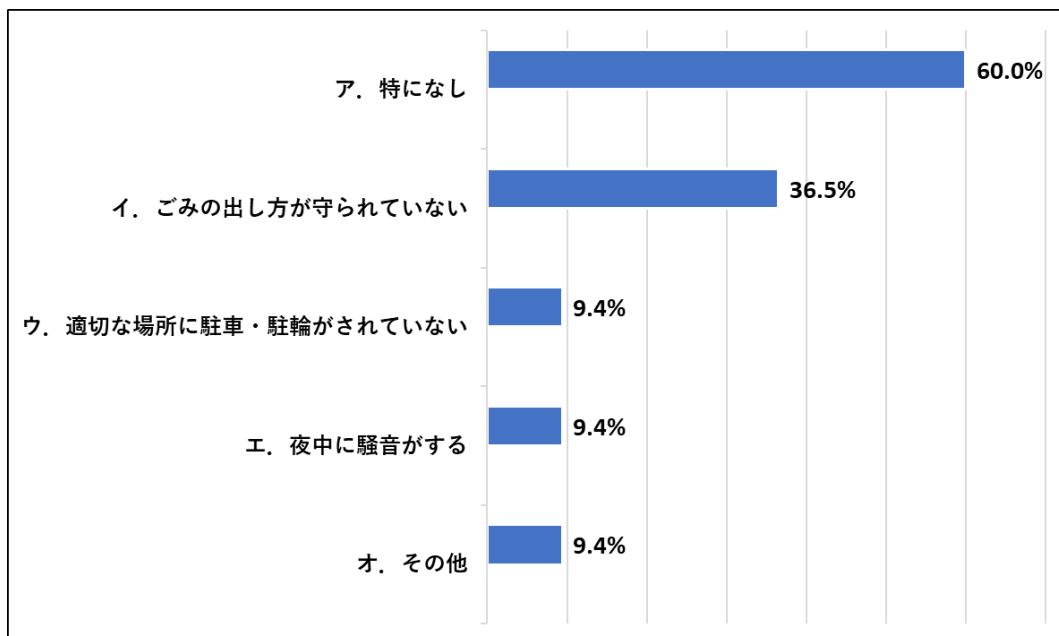
回答があった23.8%の自治会に外国人住民が加入しています。そのうち6割が長浜地域の自治会となり、地域に偏りがあります。



(S A、N = 357)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	59	6	3	2	5	3	2	1	4	0	85
イ	101	49	19	8	23	21	20	17	12	2	272
合計	160	55	22	10	28	24	22	18	16	2	357

5) 文化や習慣が異なる外国人住民と暮らしていくなかで困っていることはありますか  
「特になし」が60.0%と最も多かった一方で、ごみの出し方については36.5%の自治会が困っていると回答がありました。その他には、言語の違いによって自治会費や自治会行事についてうまく伝えられないなどの回答がありました。

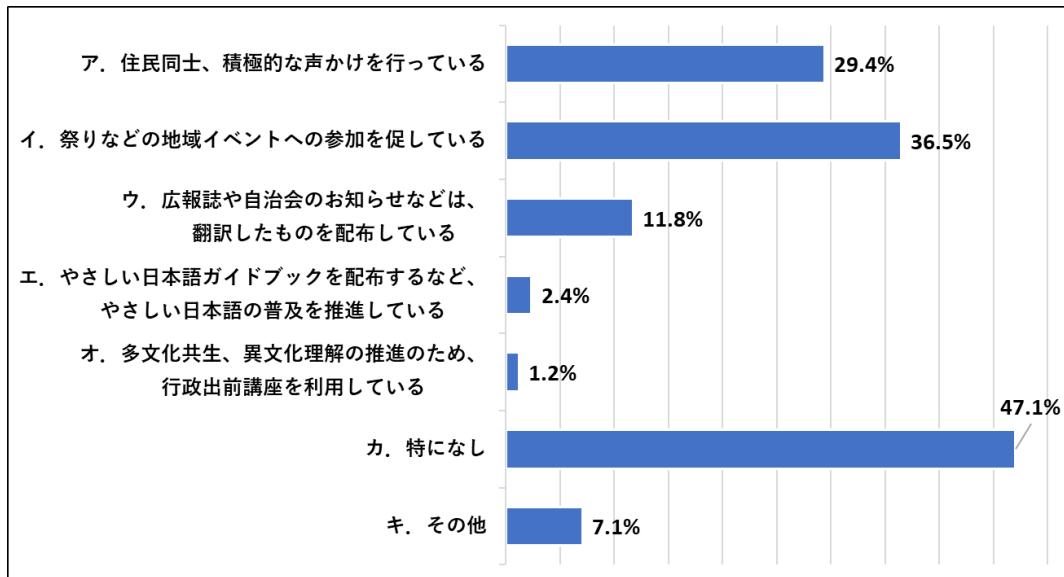


(MA、N=85)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	34	2	2	1	2	3	2	2	3	0	51
イ	26	2	0	1	1	1	0	0	0	0	31
ウ	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	8
エ	6	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8
オ	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	8
合計	74	7	3	5	4	6	2	2	3	0	106

## 6) 外国人住民と共に暮らしていくための工夫について

「特になし」が最も多く、47.1%と最も多かった一方で、外国人住民のいる約4割の自治会が祭りなどの地域にイベントに参加を促すなど、地域住民として交流を深める工夫をされています。



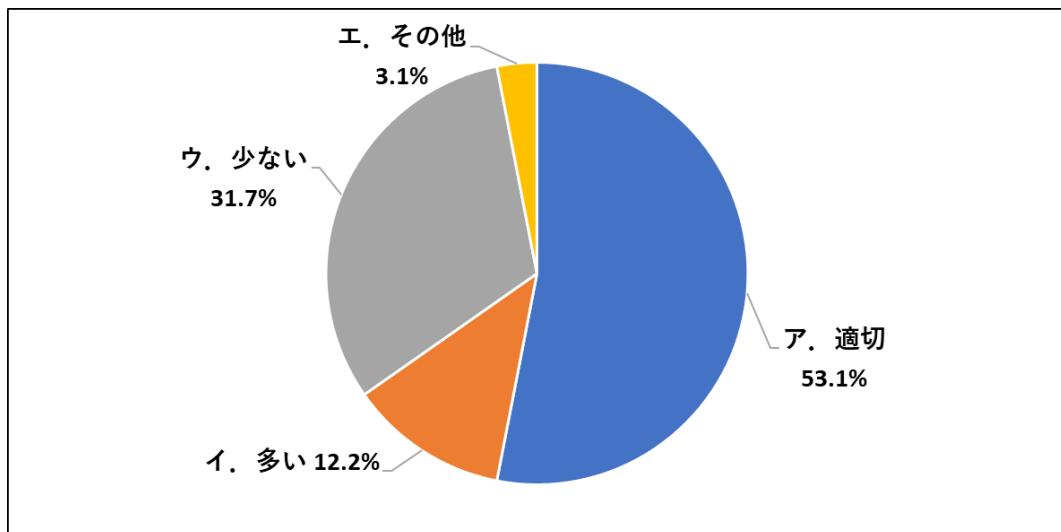
(MA、N=85)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	14	3	0	1	3	2	0	0	2	0	25
イ	18	2	0	1	4	2	1	1	2	0	31
ウ	5	2	1	0	0	0	0	0	2	0	10
エ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
オ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
カ	32	2	2	1	0	1	1	1	0	0	40
キ	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6
合計	75	10	3	3	8	5	2	3	6	0	115

#### 4. 自治会組織について

1) 自治会を運営するにあたり、現在の世帯数についてどう考えますか

53.1%の自治会が「適切」と考えている一方で、31.7%の自治会が「少ない」と考えています。また、「適切」と回答した自治会の平均世帯数は90.0世帯、「多い」と回答した自治会の平均世帯数は292.6世帯、「少ない」と回答した自治会の平均世帯数は52.9世帯でした。（令和2年4月1日時点の世帯数に基づいて算出）

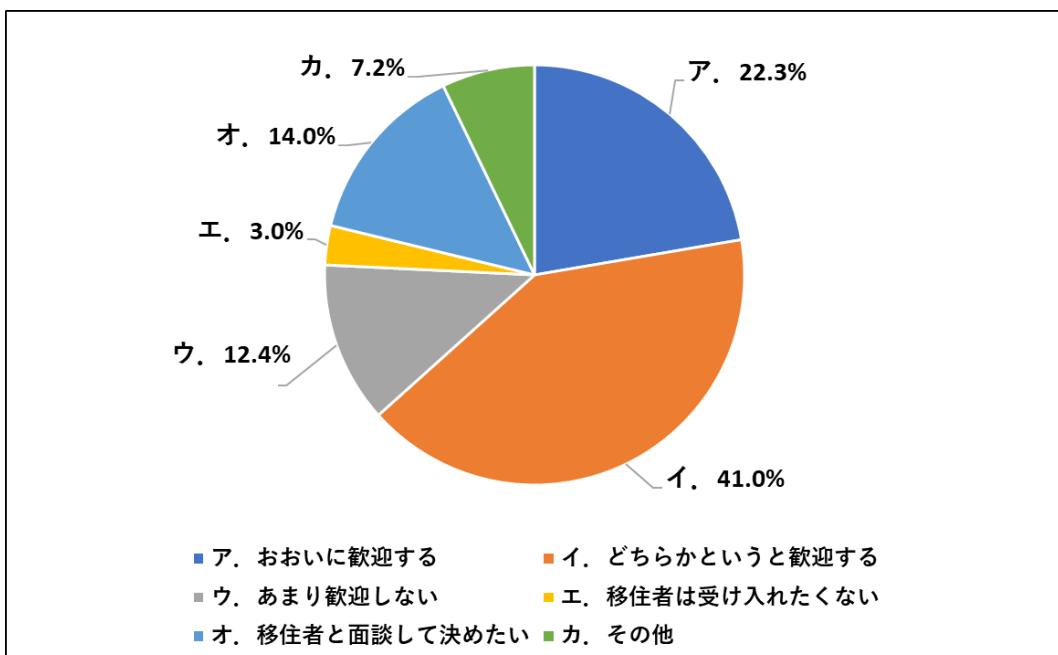


(S A、N = 360)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	93	24	14	6	19	12	10	6	6	1	191
イ	27	4	1	3	1	5	1	0	2	0	44
ウ	40	24	7	1	9	7	9	8	8	1	114
エ	3	2	0	1	0	1	1	3	0	0	11
合計	163	54	22	11	29	25	21	17	16	2	360

## 2) 移住者の受け入れについて

「どちらかというと歓迎する」の41.0%と最も多く、次いで「おおいに歓迎する」の22.3%であり、約7割の自治会が移住者の受け入れを望んでいるようです。また、地域によって状況が異なることが見受けられます。

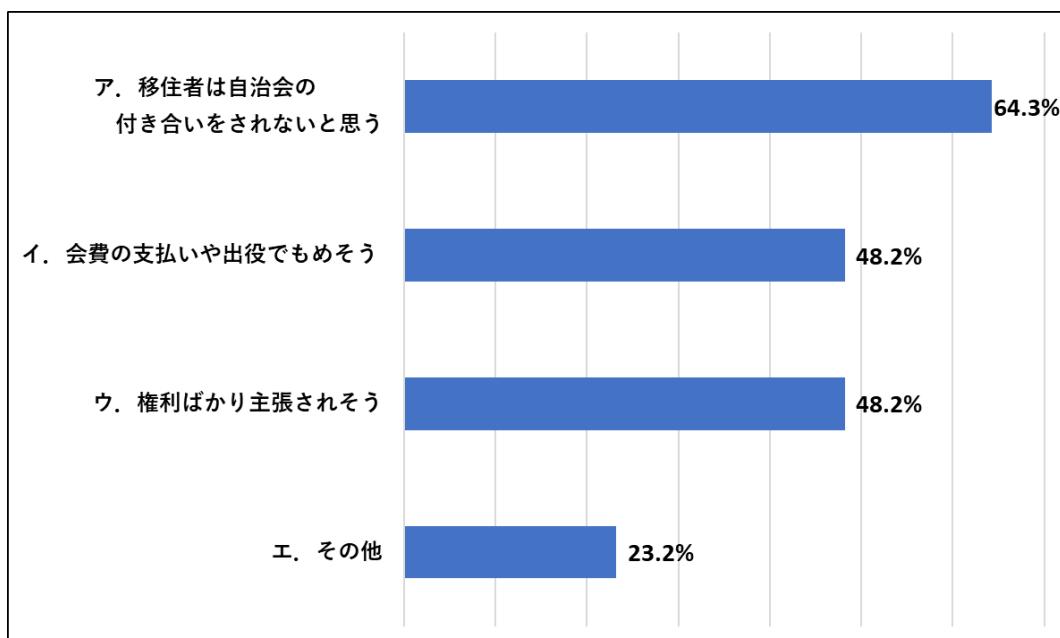


(S A、N = 363)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	43	10	5	1	4	2	8	6	1	1	81
イ	65	26	10	7	12	7	8	6	8	0	149
ウ	18	7	2	1	4	10	1	2	0	0	45
エ	1	2	0	1	4	1	1	0	1	0	11
オ	22	7	4	0	4	2	4	3	5	0	51
カ	13	3	1	1	2	3	0	1	1	1	26
合計	162	55	22	11	30	25	22	18	16	2	363

### 3) 「あまり歓迎しない」「移住者は受け入れたくない」理由について

移住者を望まない自治会の 64.3%が「移住者は自治会の付き合いをされないとと思う」と考えています。その他には、神社祭礼や葬儀に関する風習など昔からの慣例によって他所者の移住が難しくなっている点が多く挙げられました。

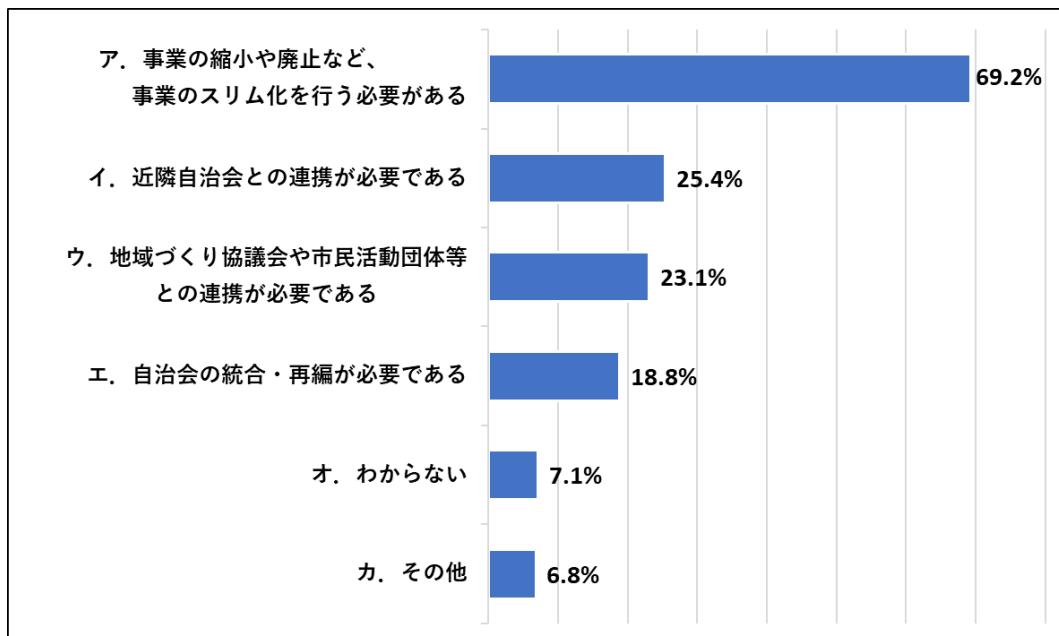


(MA、N=56)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	14	7	1	2	4	6	0	1	1	0	36
イ	9	3	1	1	5	5	2	0	1	0	27
ウ	8	3	0	2	4	7	1	1	1	0	27
エ	5	4	1	0	0	0	2	1	0	0	13
合計	36	17	3	5	13	18	5	3	3	0	103

#### 4) 今後の自治会運営のあり方について

69.2%の自治会が「事業の縮小や廃止など、事業のスリム化を行う必要がある」と考えていますが、昔からの慣習により縮小や廃止が難しく、実際には至らないケースが多いようです。



(MA、N = 351)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	95	37	16	10	24	19	15	14	12	1	243
イ	51	13	3	0	5	4	2	6	4	1	89
ウ	35	15	3	2	3	4	9	7	3	0	81
エ	33	9	3	3	5	2	4	4	2	1	66
オ	11	5	1	0	1	2	1	1	3	0	25
カ	10	5	3	0	2	1	1	1	1	0	24
合計	235	84	29	15	40	32	32	33	25	3	528

## 5) 他団体との協力・連携によって効果があった特徴的な取り組みについて

協力・連携に取り組んでいると答えた自治会が20自治会、これから取り組む予定と答えた自治会が3自治会ありました。協力・連携している団体としては、主に近隣自治会や連合自治会などが挙げられ、防災訓練や河川清掃、里山保全、獣害対策といった活動をされているようです。中には、近隣自治会とパートナーシップ協定を結ぶなど、先進的に協力・連携に取り組む自治会もありました。地域の共通課題に対し、協力して取り組ることで、より効果的な活動となっているようです。

また、社会福祉協議会や森林組合、観光協会といった専門的な団体と連携している自治会もあり、一人暮らしの高齢者の見守り活動など、自治会だけで取り組むことが難しい分野の課題に取り組む自治会があることがわかりました。

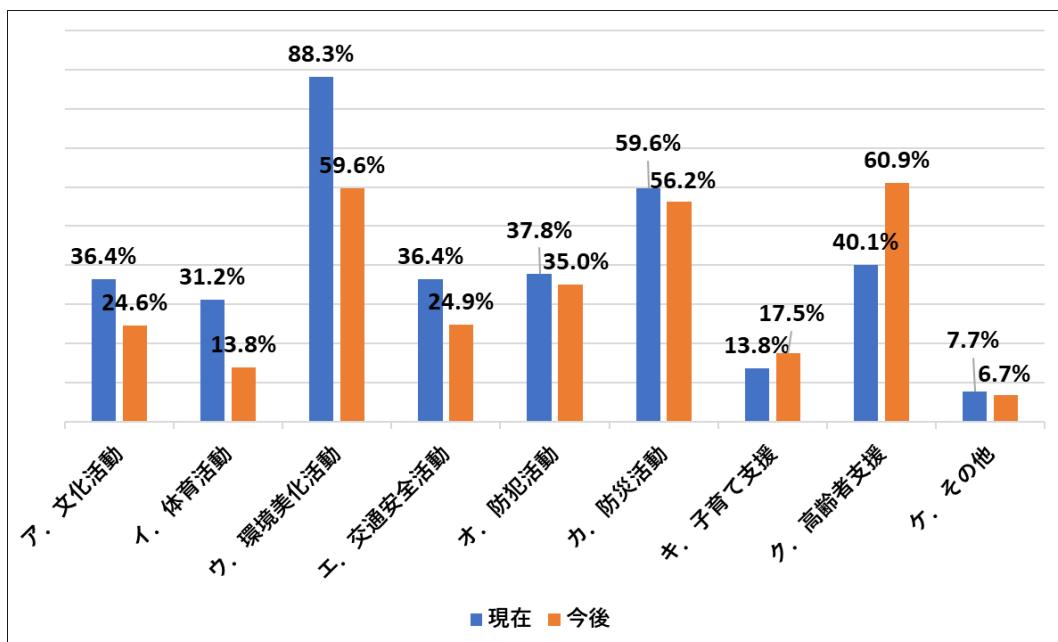
### 好事例の紹介

- ・米川の河川清掃を実施しています。若い力が必要であり、13自治会が力を結集して毎年実施し成果をあげています。
- ・田村山の散策道清掃を年2回実施しています。参加団体は主に6自治会ですが、バイオ大学・長浜北星高校・養護学校からの参加もあり、総勢50名～60名の参加者で清掃活動に取り組んでいます。
- ・社会福祉協議会と地域包括支援センターと連携し、一人暮らしの80歳以上の高齢者を対象としたよろず相談を開催しました。今後は、対象を拡大してお茶会などを開き、交流の場を作りながら、お買い物ツアーの試験実施をやっていく予定です。

## 5. 自治会活動について

### 1) 現在、自治会で取り組まれている活動や今後力を入れていきたい活動について

現在、力を入れている活動で最も多いのが「環境美化活動」で88.3%、次いで「防災活動」が59.6%、「高齢者支援」が約40.1%。また、今後、力を入れていきたい活動は、「高齢者支援」が60.9%、次いで「環境美化活動」が59.6%、「防災活動」が56.2%となっています。「その他」には、獣害対策、納涼祭、親睦会、おこない等の回答もありました。



■現在の活動

(M A、N = 3 4 9)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア. 文化活動	65	10	12	1	9	16	7	2	5	0	127
イ. 体育活動	60	10	9	4	9	9	5	1	2	0	109
ウ. 環境美化活動	138	43	19	11	26	22	20	13	14	2	308
エ. 交通安全活動	67	17	8	2	7	14	4	5	3	0	127
オ. 防災・防犯活動	74	11	10	3	8	12	5	3	6	0	132
カ. 防災活動	91	29	16	7	16	18	10	11	8	2	208
キ. 子育て支援	23	2	6	1	5	4	2	2	3	0	48
ク. 高齢者支援	67	12	11	3	6	12	11	10	6	2	140
ケ. その他	11	2	1	0	2	5	4	2	0	0	27
合 計	596	136	92	32	88	112	68	49	47	6	1226

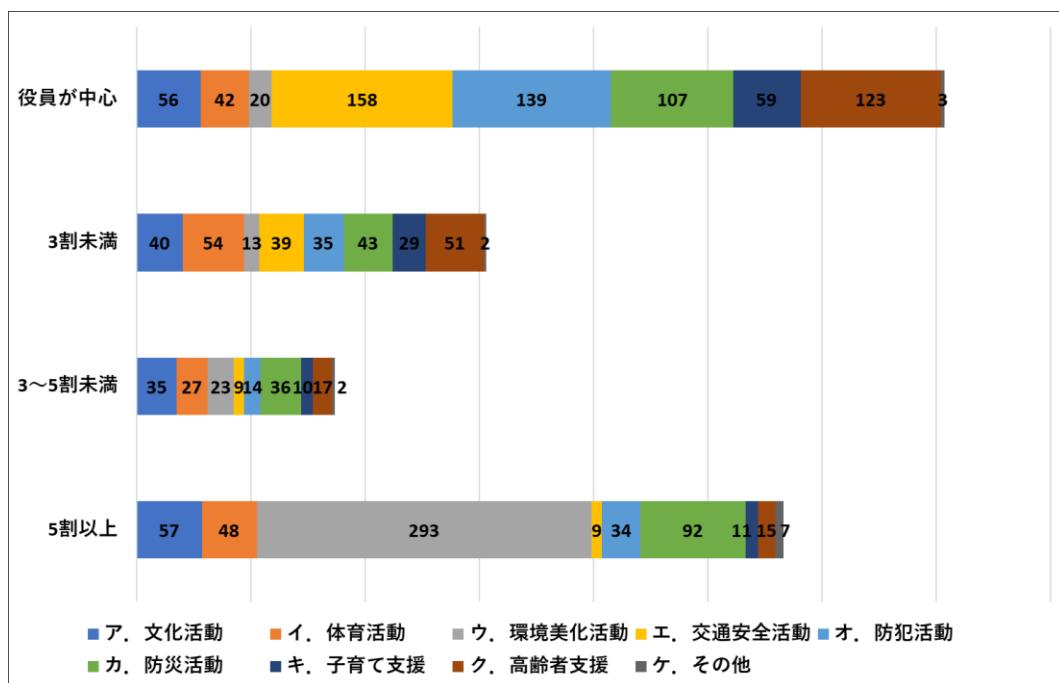
■今後の活動

(M A、N = 2 9 7)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア.文化活動	38	7	5	0	6	6	6	2	3	0	73
イ.体育活動	23	5	5	0	2	2	4	0	0	0	41
ウ.環境美化活動	75	21	12	5	18	12	15	8	9	2	177
エ.交通安全活動	43	7	6	0	4	5	4	1	4	0	74
オ.防災・防犯活動	50	12	6	3	6	9	8	3	7	0	104
カ.防災活動	78	17	10	8	14	10	11	9	8	2	167
キ.子育て支援	24	5	4	1	5	2	5	3	3	0	52
ク.高齢者支援	85	18	13	3	14	12	12	11	11	2	181
ケ.その他	8	1	0	0	2	2	3	3	1	0	20
合 計	424	93	61	20	71	60	68	40	46	6	889

## 2) 自治会活動への自治会員の参加状況について

「環境美化活動」には各自治会とも多くの会員が参加され、自治会活動の中心となっていることが伺えます。「交通安全活動」や「防犯活動」、「高齢者支援」は、役員が中心の活動となっています。

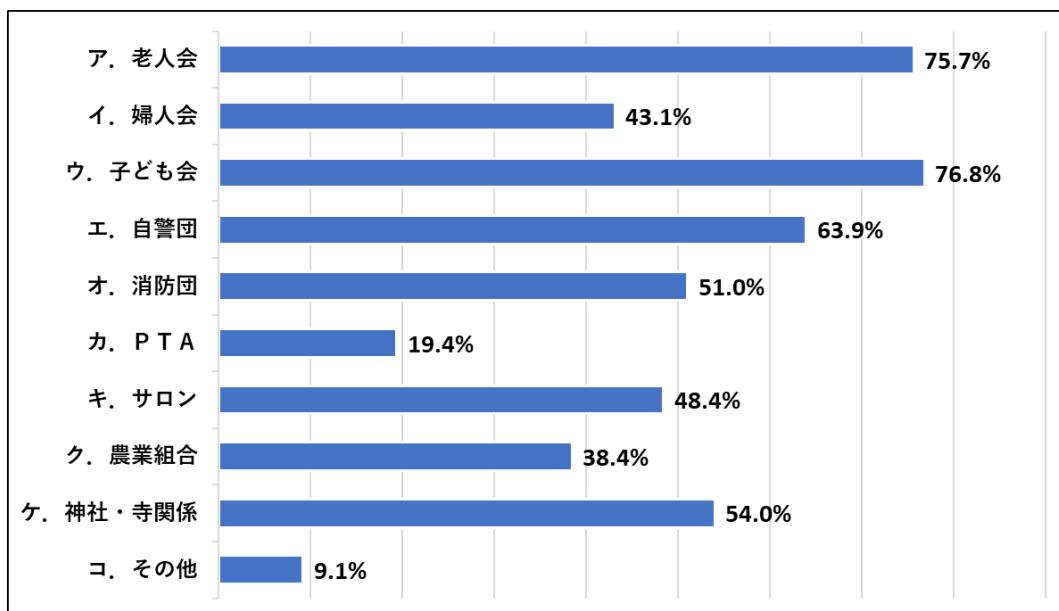


(S A、N = 355)

参加状況	役員が中心	3割未満	3~5割	5割以上
ア. 文化活動	56	40	35	57
イ. 体育活動	42	54	27	48
ウ. 環境美化活動	20	13	23	293
エ. 交通安全活動	158	39	9	9
オ. 防犯・防犯活動	139	35	14	34
カ. 防災活動	107	43	36	92
キ. 子育て支援	59	29	10	11
ク. 高齢者支援	123	51	17	15
ケ. その他	3	2	2	7
合 計	707	306	173	566

### 3) 自治会傘下の団体について

自治会傘下の団体で最も多かったのが「子ども会」で76.8%、次いで「老人会」が75.7%であり、回答があった自治会の75%以上が高齢者支援や子育て支援を行っているようです。その他には、祭りや地域イベントの実行委員会を設置しているという回答がありました。

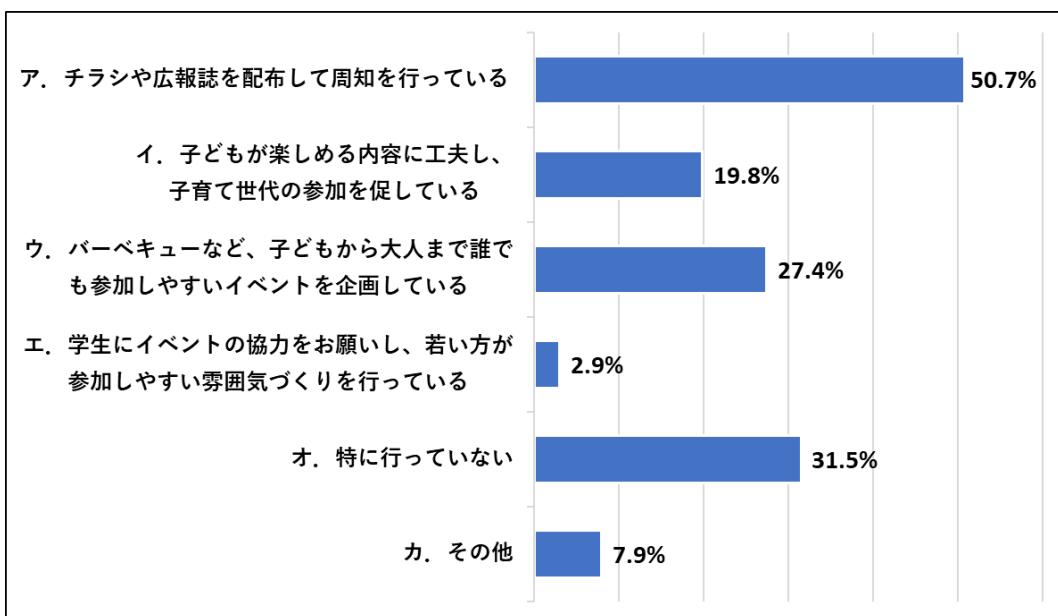


(MA、N = 341)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	97	41	17	7	26	24	18	13	13	2	258
イ	50	22	6	4	21	15	11	8	10	0	147
ウ	113	38	19	8	27	23	12	7	13	2	262
エ	110	35	13	8	18	13	10	7	4	0	218
オ	22	26	15	9	28	24	16	16	16	2	174
カ	10	19	4	1	5	10	3	5	8	1	66
キ	43	20	14	7	19	19	10	17	14	2	165
ク	29	19	9	6	16	13	12	12	14	1	131
ケ	47	29	11	5	24	21	16	14	16	1	184
コ	10	4	2	2	4	1	3	0	4	1	31
合計	531	253	110	57	188	163	111	99	112	12	1636

#### 4) 自治会活動に多くの方が関わるきっかけづくりについて

自治会傘下の団体で最も多かったのが「チラシや広報誌を配布して周知を行っている」で50.7%、次いで「特に行っていない」が31.5%、「バーベキューなど、子どもから大人まで誰でも参加しやすいイベントを企画している」が27.4%と続いている。グランドゴルフ大会や夏祭りを開催して多世代交流を図っている自治会があるようです。

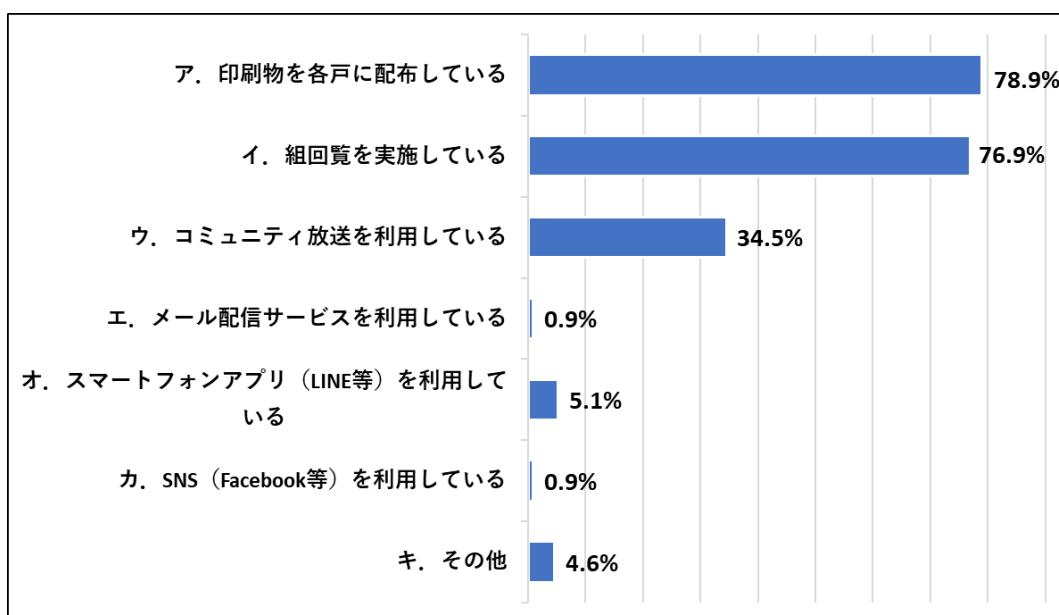


(MA、N = 343)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	86	23	13	5	11	13	8	9	5	1	174
イ	30	8	7	1	6	5	4	4	3	0	68
ウ	41	9	6	3	10	9	5	4	6	1	94
エ	3	0	0	0	0	3	1	2	1	0	10
オ	45	19	5	3	9	7	10	5	5	0	108
カ	9	3	1	0	2	4	4	1	3	0	27
合計	214	62	32	12	38	41	32	25	23	2	481

## 5) 自治会活動を周知するための連絡手段について

「印刷物を各戸に配布している」の 78.9% が最も多く、次いで「組回覧を実施している」が 76.9% と続き、多くの自治会が紙媒体による連絡を行っています。また、コミュニティ放送については地域差があり、北部地域を中心に約 3 割がコミュニティ放送を利用されています。

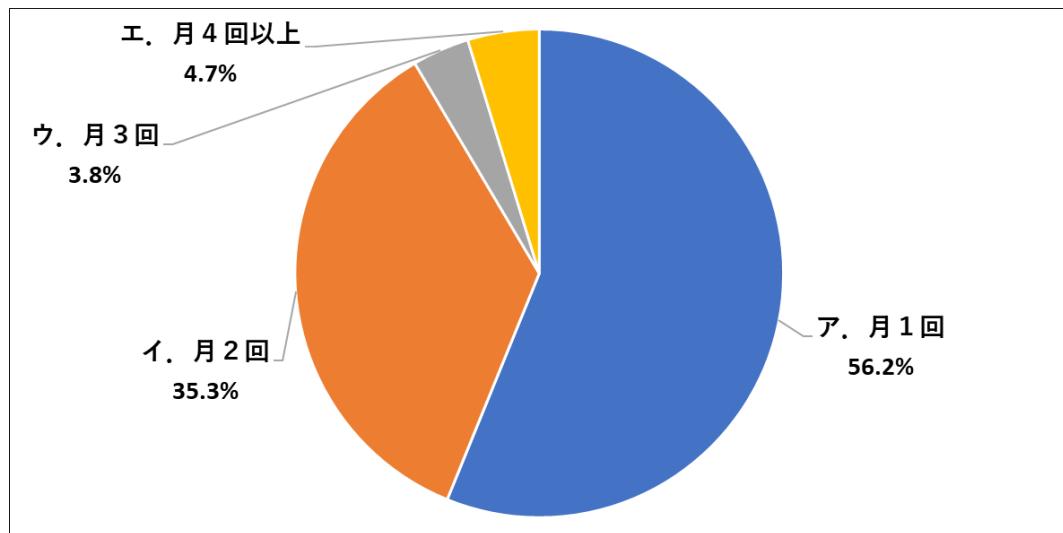


(MA、N = 351)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	130	46	17	10	20	19	14	12	8	1	277
イ	129	43	16	7	21	17	11	13	12	1	270
ウ	17	2	15	6	21	18	15	15	12	0	121
エ	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
オ	7	3	2	2	0	0	1	2	1	0	18
カ	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
キ	5	1	3	1	0	2	0	2	1	1	16
合計	290	95	53	27	62	57	42	45	34	3	708

## 6) 情報発信の頻度について

情報発信の頻度で最も多かったのが「月1回」の56.2%、続いて「月2回」の35.3%でした。ほとんどの自治会が月1~2の情報発信を行っています。

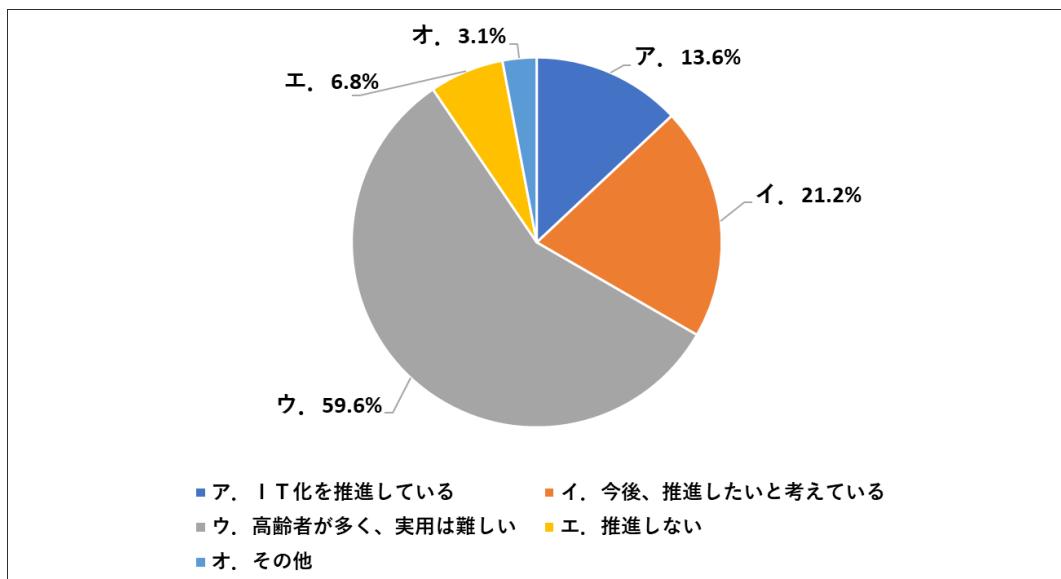


(S A、N = 317)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	85	28	14	5	16	12	5	5	7	1	178
イ	52	20	3	4	7	9	6	8	3	0	112
ウ	2	1	1	0	2	0	5	1	0	0	12
エ	1	1	2	1	2	1	1	3	3	0	15
合計	140	50	20	10	27	22	17	17	13	1	317

## 7) 自治会業務のIT化について

59. 6%の自治会が「高齢者が多く、実用は難しい」と考えている一方で、次いで多かったのが「今後、推進したいと考えている」の、21.2%でした。IT化の導入が難しい理由として、高齢者が多いこと以外にコスト面やノウハウがないことなどが挙げられました。



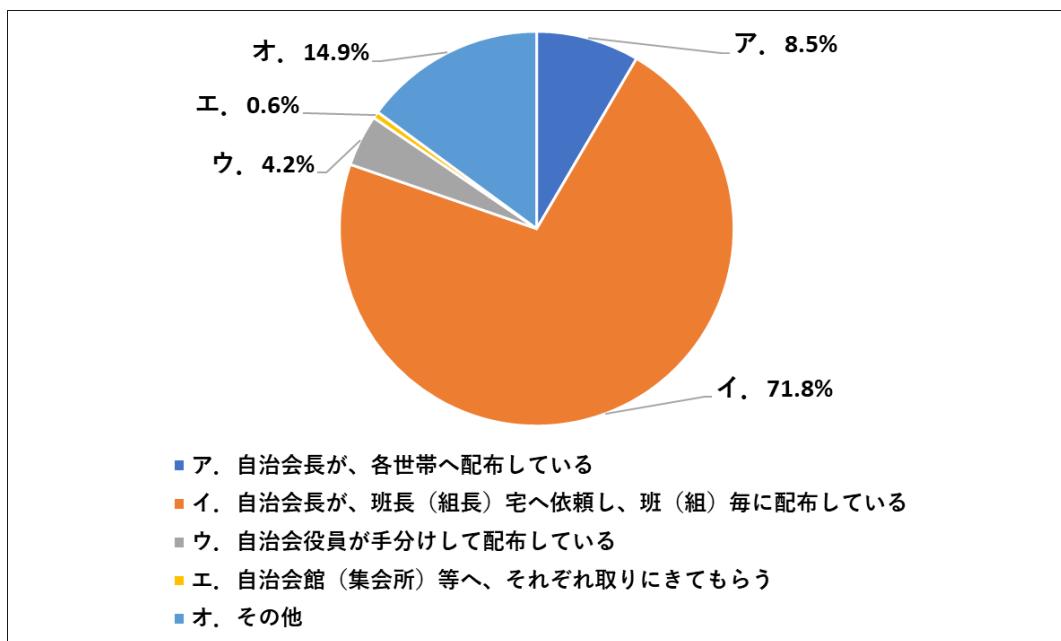
(MA、N = 354)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	14	5	6	4	2	3	2	4	7	1	48
イ	29	8	7	2	9	11	4	1	4	0	75
ウ	102	37	9	5	14	10	12	14	6	2	211
エ	13	2	0	0	3	1	5	0	0	0	24
オ	6	0	2	0	1	1	0	0	1	0	11
合計	164	52	24	11	29	26	23	19	18	3	369

8) 市から自治会へお願いしている配布物（広報ながはま等）の配布方法について

①主な配布方法について

71. 8%の自治会で、会長が班長宅へ配布し、班ごとに配布されています。その他としては、当番制で配布している、配布担当を設けている、老人会に委託という回答もありました。

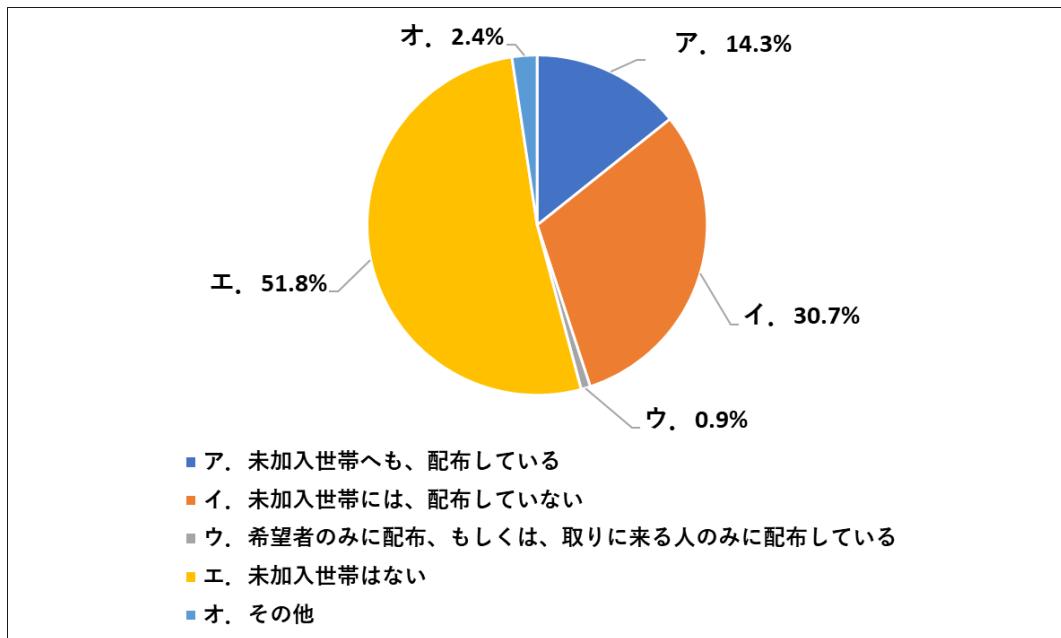


(S A、N = 355)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	8	9	1	0	6	1	3	0	2	0	30
イ	119	33	17	11	17	19	14	12	11	2	255
ウ	9	0	0	0	2	1	2	1	0	0	15
エ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
オ	21	11	2	0	4	4	3	5	3	0	53
合計	158	53	21	11	29	25	22	18	16	2	355

## ②自治会への未加入世帯への配布について

「未加入世帯はない」が全体の約半分ありますが、未加入者への配布については「配布している」と「配布していない」で対応が分かれました。

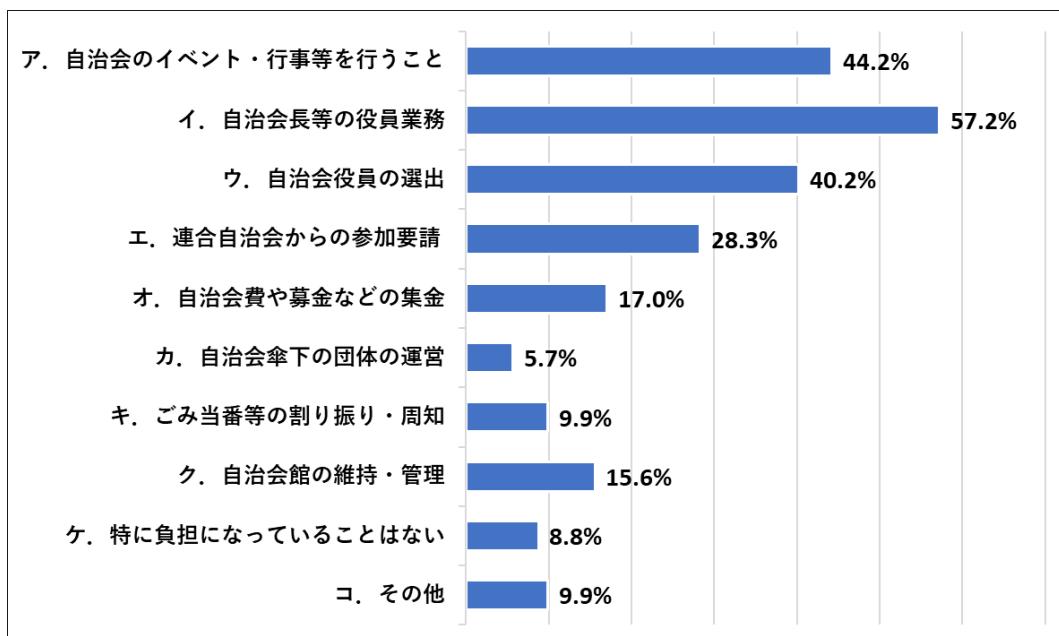


(S A、N = 336)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	25	4	3	2	5	4	4	1	0	0	48
イ	59	10	3	6	6	8	5	1	5	0	103
ウ	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
エ	63	35	13	2	17	10	10	13	10	1	174
オ	3	1	0	0	1	1	2	0	0	0	8
合計	152	50	19	10	29	24	21	15	15	1	336

9) 自治会活動で負担になっていることは何ですか。

最も多いのが「自治会長等の役員業務」の57.2%、次いで「自治会のイベント・行事等を行うこと」の44.2%、「自治会役員の選出」の40.2%でした。自治会の運営そのものが負担と感じているようです。

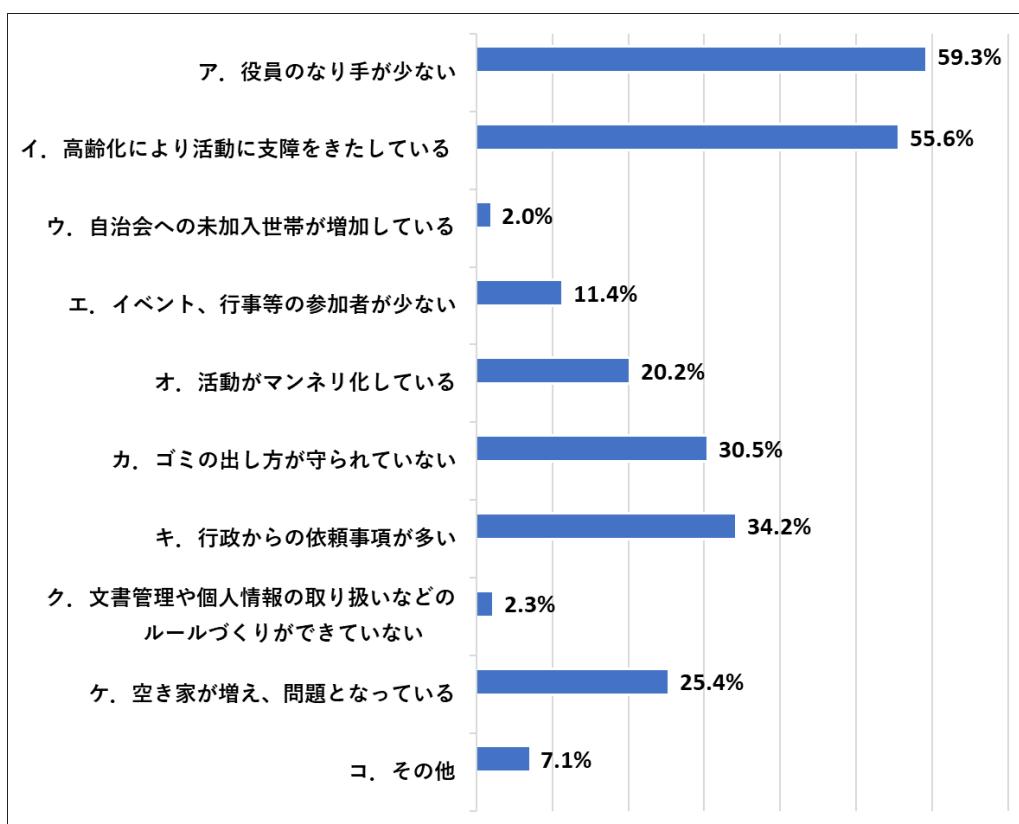


(MA、N = 353)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	69	21	10	6	17	14	6	5	8	0	156
イ	78	35	15	6	21	17	10	9	9	2	202
ウ	70	18	4	3	12	6	7	12	9	1	142
エ	60	15	4	1	5	3	4	2	4	2	100
オ	29	10	5	4	5	3	2	1	0	1	60
カ	5	6	3	0	0	3	2	0	1	0	20
キ	15	7	1	2	4	1	1	1	2	1	35
ク	15	15	4	1	7	4	3	5	1	0	55
ケ	16	2	3	0	0	6	2	2	0	0	31
コ	11	9	3	2	0	1	4	1	4	0	35
合計	368	138	52	25	71	58	41	38	38	7	836

10) 自治会を運営する上での困りごとについて

最も多いのが「役員のなり手が少ない」の 59.3%、次いで「高齢化により活動に支障をきたしている」が 55.6% でした。人口減少や少子高齢化の進展などにより、役員のなり手不足、現役世代の負担が増えるなど、自治会活動が困難となる自治会が出始めている状況が見受けられます。

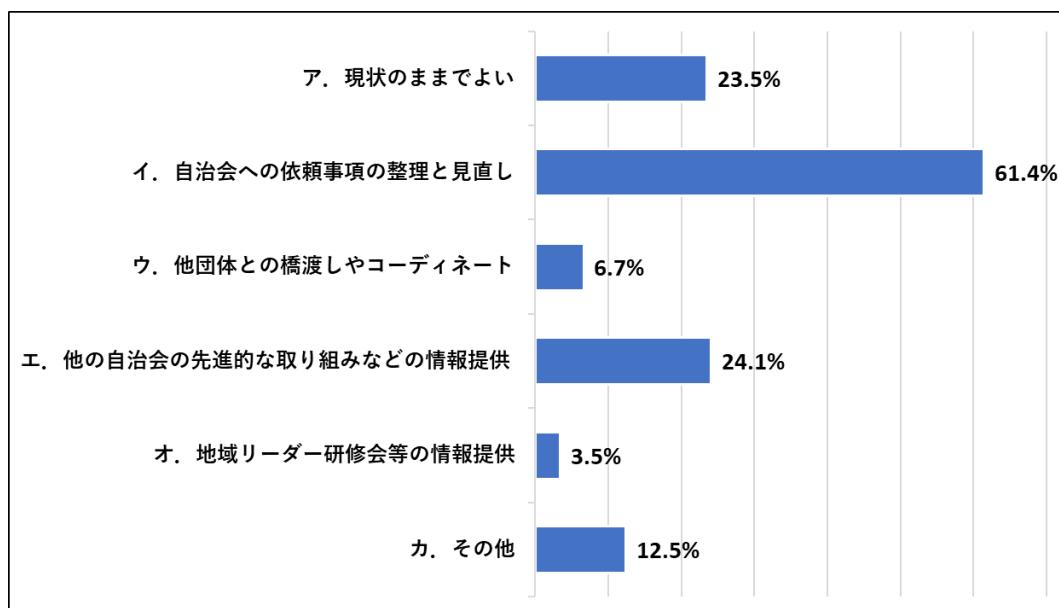


(MA、N = 351)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	97	28	10	8	19	10	12	14	8	2	208
イ	81	28	9	6	20	14	15	13	9	0	195
ウ	4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	7
エ	23	4	4	0	3	2	1	1	2	0	40
オ	32	8	8	2	5	7	3	2	4	0	71
カ	46	21	6	7	10	9	6	1	1	0	107
キ	54	14	8	4	7	10	8	7	6	2	120
ク	4	1	2	0	0	0	1	0	0	0	8
ケ	34	18	3	4	3	8	8	6	5	0	89
コ	9	3	2	0	2	4	0	1	4	0	25
合計	384	127	52	31	69	64	55	45	39	4	870

11) 自治会活動における市からの支援について

「自治会への依頼事項の整理と見直し」が61.4%と最も多く、行政からの依頼事項が自治会活動を圧迫しており、多くの自治会が業務の負担軽減を望んでいるようです。

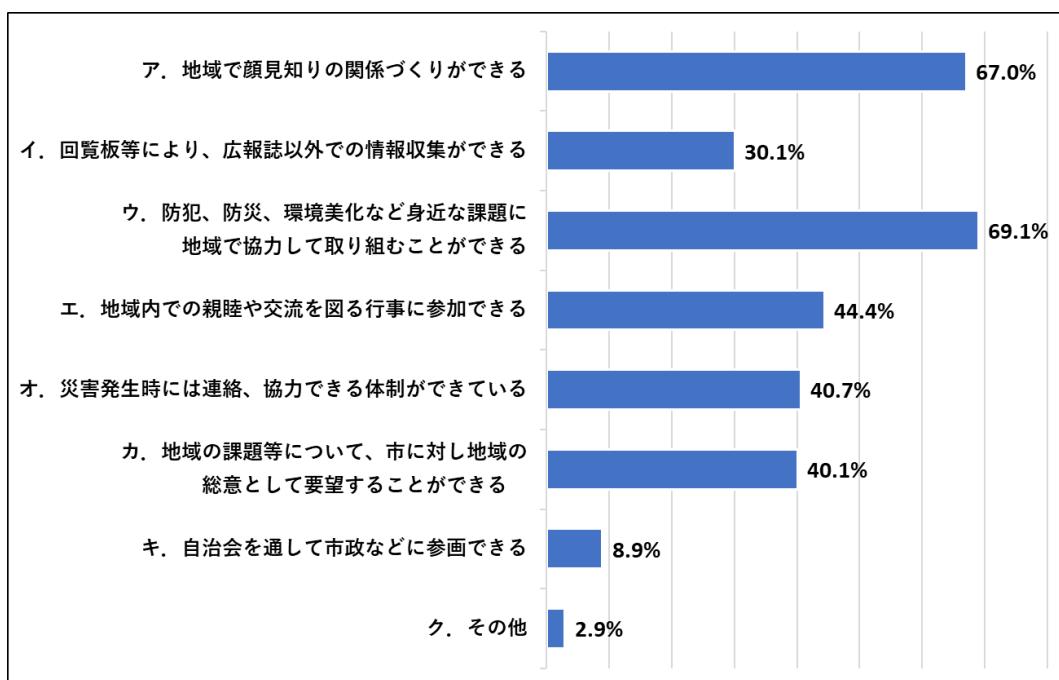


(MA、N = 345)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	36	14	3	2	7	6	7	2	3	1	81
イ	100	29	14	7	15	13	10	12	10	2	212
ウ	11	3	0	2	1	1	2	2	1	0	23
工	39	11	3	5	5	7	5	7	1	0	83
オ	5	2	1	0	1	1	2	0	0	0	12
カ	12	8	5	1	9	1	1	2	4	0	43
合計	203	67	26	17	38	29	27	25	19	3	454

12) 自治会組織があつてよかったですと思えることについて

約7割の自治会が「防犯、防災、環境美化など身近な課題に地域で協力して取り組むことができる」、「地域で顔見知りの関係づくりができる」をメリットとして挙げられています。



(MA、N = 349)

	長	浅	び	虎	湖	高	木	余	西	不明	合計
ア	110	37	13	8	19	14	13	8	11	1	234
イ	60	17	4	1	6	6	4	1	6	0	105
ウ	108	33	16	5	23	15	15	13	11	2	241
エ	80	20	7	4	11	10	10	6	6	1	155
オ	57	19	10	4	17	9	13	4	8	1	142
カ	59	20	11	4	7	13	10	5	11	0	140
キ	12	5	2	0	4	1	2	2	3	0	31
ク	5	1	0	1	0	0	0	1	2	0	10
合計	491	152	63	27	87	68	67	40	58	5	1058

## 6. その他（自由意見）

137自治会から回答があり、そのうち約半数の自治会が役員のなり手不足や少子高齢化に関する内容でした。ここからも、人口減少や少子高齢化の進展などにより、役員のなり手不足、現役世代の負担が増えるなど、自治会活動が困難となる自治会が出始めている状況が見受けられます。その他、ゴミの出し方や行政からの依頼事項が多いこと、空き家問題など、自治会を運営する上での困りごとについて多く回答がある一方、コロナ禍における自治会運営に関するものもいくつか回答がありました。テーマ別に一部意見をご紹介します。

### 役員のなり手不足

- ・若者は出でていき、高齢化が進んでいる。人足等も人手が減っており、負担大。役員が出来る人が減っており、一人で何役も受けないといけないのが現状。
- ・高齢化により、役員のなり手が少なく、実質的に数人で持ち回りになっている。次世代も少ないことから先行き不安である。
- ・自治会の適正規模について考えることが多い。ダイナミックな行事等を子ども達に経験させてやりたいと思うと小規模すぎるし、合併等で大規模な自治会にすると、それだけ役員や会員の負担も増加するはずである。近隣自治会との交流や連携がひとつの解決策になるのではないか。
- ・少子高齢化に伴い、自治会長や自治会役員になる人が限られてきており、大きな負担になっている。その役割(仕事量)を減らして誰にでも出来るスタイルにしたいのだが、以前にも増して自治会長・自治会役員の仕事量が増えてしまっている。
- ・住民の高齢化で年々役員の選出が難しくなってきており、それに加えて若い世代が活動に無関心というかあまりやりたがらない。
- ・毎回のように同じ人に自治会長が回ってきており、若い人が少ない為、自治会活動も同じで新しい活動もできていない。若い人がこの村に住まなくなってきた。自治会を守っていくには、自治会費も多く徴収しなくてはならない。

### 少子高齢化

- ・高齢者が多くなり、伝統行事が簡素化になりつつある。

- ・少子高齢化により、近い将来自治会運営そのものに支障を期すことが大きな課題。隣接自治会との合併は不可能であるが、共同運営が出来ないものか手段・方法を模索中。
- ・自治会の高齢化に伴い、各種事業の実施が困難になっている。
- ・高齢化が年々進んで数年後に限界集落になってしまう。若者の人口は減少し、集落の自治会活動が今まで通り実施する事は困難となることが予測される。行事等整理縮小する事を進めなければならない。
- ・町民の高齢化等で役員のなり手がなくなって町内の活動だけで手がいっぱい、連合等の役員が当たると無理になってきています。連合等から外れる事はできないものか。
- ・「絆」の大切さが再認識される中、自治会の日々の活動が絆づくりにとって最も大切な要素であると思います。現在、当自治会では比較的うまく運営することが出来ているように思われますが、20年30年後に人口減少とますます高齢化に直面した時どうなるかが心配です。

#### ゴミの出し方

- ・毎回回収されないゴミがあり、その対応に役員が振り回されている。ゴミの回収をもっと柔軟にしてほしいと思う。ゴミの出し方は日常的で身近な事だけに自治会への要望・苦情も多い。このことも役員になりたがらない原因の一つとなっている。
- ・ゴミ出しのルールが守られていない。他地域から持ってこられ、結局自治会長が他人のゴミを再分別することになっている。

#### 行政からの依頼事項

- ・月2回の配布物を、1回にして欲しい。
- ・市の広報誌が今年から月1回となったが、他の配布物が統一されておらず、相変わらず毎月2回の配布をしないといけない。
- ・市からの配布物が多いと感じる。紙物は必要ないのではと思います。
- ・自治会長あての書類について、電子データを市ホームページに掲載しペーパレス化が図れないか。

- ・パソコン・スマホの活用（インターネット）情報管理の推進。年配者もスマホを持つ人が増加している。配布物をライン等に切り替えては。
- ・議会だより、社協だより 必要な人が希望して各所に取りに行けばよいのでは。

#### 空き家

- ・「空き家」の管理がまったくされていなく、環境面・防犯面からも危険な状態で放置している家が多くなって来ている。
- ・空き家対策として、移住者の受け入れを積極的に進めている。

#### コロナウイルス感染症

- ・高齢化率が高くなっている。今までの自治会運営が行き詰まっています。今から小さな事から少しずつ変えていかなければならないと思っています。今年は新型コロナの影響で、ふれあいサロンなどの行事が中止となり、これをチャンスと捉え、本自治会の課題を洗い出し、新しい自治会運営を目指していきたいと考えております。
- ・今年はコロナ感染対策の為、長浜市主催の各々の会議が書面決議となり、会議に出なくてよいのが助かっている。書面決議で十分対応出来ているので、やらなくても良いのでは。仕事をしている役員がほとんどであり、貴重な時間を会議に出席することが負担である。
- ・コロナの状況で、例年通りの活動が出来ないときどのようにすればよいかわからない。「やめる」という判断が難しい。

#### その他

- ・助成金、寄付金が多すぎる気がします。
- ・当自治会のみの事情ですが、当地域の自治のためにいただいている自治会費が他団体への寄付や協賛等へ消えていくのも何か違うのではないかと感じています。
- ・いずれ自治会統合、再編が必要と思われる。各々課題が違うが、問題提起をしなければならない時期にきていると思います。
- ・SNSやIT化を進めていく必要性を感じているが、進め方がわからないので、支援をお願いしたい。

- ・IT化の成功例の照会や、一緒にIT化を進める市等の専門知識のあるスタッフの協力や支援がほしい。
- ・マンション全体で1つの自治会を構成しており、他の自治会とはいいろいろ事情、状況が異なります。自治会役員はマンション管理組合役員を兼務しているし、予算規模の圧倒的に大きな管理組合役員としての負担が大きいため、自治会としての活動にはあまり力を入れられずにいます。世帯数が多い一方で、自治会活動に無関心な人が多いことも悩みの種です。

自治会に関するアンケート調査 結果報告書

長浜市連合自治会

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町 632 番地

Tel : 0749-65-8711 Fax: 0749-65-6571